

第 5 様 式

避難・地震防災応急対策の実施状況報告書

速報用

送信者		受信者		送受信時間
機関名	氏名	機関名	氏名	
				月 日 時 分
				月 日 時 分

緊急応急対策等	実施状況等 (該当する番号に○をつけること)
①東海地震予知情報の伝達	1 完了 2 半数以上 3 半数未満
②地域住民の避難状況	1 必要なし 2 必要あり（ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施）
③消防・浸水対策活動	1 必要なし 2 必要あり（ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施）
④応急の救護を要すると認められる者の救護・保護	1 必要なし 2 必要あり（ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施）
⑤施設・設備の整備及び点検	1 必要なし 2 必要あり（ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施）
⑥犯罪の防止、交通の規制、その他社会秩序の維持	1 必要なし 2 必要あり（ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施）
⑦食糧、生活必需品、医薬品等の確保	1 必要なし 2 必要あり（ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施）
⑧緊急輸送の確保	1 必要なし 2 必要あり（ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施）
⑨地震災害警戒本部（災害対策本部）の設置	1 設置 2 準備中 3 未設置
⑩対策要因の確保	1 完了 2 半数以上 3 半数未満
備 考	

様式第 2（地震－別紙 東海地震に関する事前対策第 2 章第 4 節）

避難・地震防災応急対策の実施状況報告書

< 県報告用 >

送信者		受信者		送受信日時
機関名	氏名	機関名	氏名	
				月 日 時 分
				月 日 時 分

避難 状 況	① 避難 の 経 過	危険事態、異常事態の発生状況		
		措置事項		
	② 避難 の 完 了	避難場所名	避難人数・ 要救護人数	救護、保護に必要な措置等
地震 防 災 応 急 対 策	③	地震予知情報の伝達、避難指示		
	④	消防、水防その他応急措置		
	⑤	応急の救護を要すると認められる者の救護、保護		
	⑥	施設・設備の整備及び点検		
	⑦	犯罪の予防、交通の規制、その他社会秩序の維持		
	⑧	緊急輸送の確保		
	⑨	食料・医薬品等の確保、清掃・防疫の体制整備		
	⑩	その他災害の発生防止・軽減を図るための措置		
		備 考		

避難・地震防災応急対策の実施状況報告書

< 避難所等からの報告用 >

送信者		受信者		送受信日時
機関名	氏名	機関名	氏名	
				月 日 時 分
				月 日 時 分

避難 状 況	① 避難 の 経 過	危険事態、異常事態の発生状況		
		措置事項		
	② 避難 の 完 了	避難場所名	避難人数・ 要救護人数	救護、保護に必要な措置等
地震 防 災 応 急 対 策	③	地震予知情報の伝達、避難指示		
	④	消防、水防その他応急措置		
	⑤	応急の救護を要すると認められる者の救護、保護		
	⑥	施設・設備の整備及び点検		
	⑦	犯罪の予防、交通の規制、その他社会秩序の維持		
	⑧	緊急輸送の確保		
	⑨	食料・医薬品等の確保、清掃・防疫の体制整備		
	⑩	その他災害の発生防止・軽減を図るための措置		
		備 考		

様式第3（風水害－第3編第3章第1節、地震－第3編第3章第1節）

被害状況報告書

〈避難所用〉

		避難所		第 報			
報告日時	年 月 日 時 分	報告者					
報告機関名	避難所対策本部		受信者				
情報源	市民・自主防災組織・消防・警察・職員・その他（ ）						
避難所	開設日時	年 月 日 時 分	世帯数				
開設状況	種 別	指示 ・ 自主避難		人 数			
被 害 種 別		被 害	被害の状況及び特記事項				
人的被害	死 者	人	(被害が甚大な地区名等)				
	行方不明者	人					
	重傷者	人					
	軽傷者	人					
住家被害	全 壊	戸	避難所収容人数	全 壊	棟	世帯	
	半 壊	戸		半 壊	棟	世帯	
	一部破損	戸		一部破損	棟	世帯	
	()	戸		()	棟	世帯	人
火災の発生状況	地区	棟					
	地区	棟					
	地区	棟					
	地区	棟					
	地区	棟					
その他公共施設等の被害	道 路	箇所					
	橋 梁	箇所					
	河 川	箇所					
		箇所					
		箇所					
		箇所					
緊急を要する事項等（具体的に箇条書きにして記入のこと。）							

様式第4（風水害－第3編第3章第1節、地震－第3編第3章第1節）

人的被害状況報告書

（ ⇒市災害対策本部）

速報・確定 年 月 日現在

報告日時	年 月 日	所属部課		報告者	
------	-------	------	--	-----	--

情報元（ ）

被災者		区分	確認した日時 及び状況	措置の結果
氏名	男・女	死亡 行方不明 負傷 軽傷		
年齢	年 月 日生（満 歳）			
住所	市 町			
氏名	男・女	死亡 行方不明 負傷 軽傷		
年齢	年 月 日生（満 歳）			
住所	市 町			
氏名	男・女	死亡 行方不明 負傷 軽傷		
年齢	年 月 日生（満 歳）			
住所	市 町			
氏名	男・女	死亡 行方不明 負傷 軽傷		
年齢	年 月 日生（満 歳）			
住所	市 町			
氏名	男・女	死亡 行方不明 負傷 軽傷		
年齢	年 月 日生（満 歳）			
住所	市 町			
氏名	男・女	死亡 行方不明 負傷 軽傷		
年齢	年 月 日生（満 歳）			
住所	市 町			
氏名	男・女	死亡 行方不明 負傷 軽傷		
年齢	年 月 日生（満 歳）			
住所	市 町			

注意事項 被災者が発生したときは、速報としてその都度市災害対策本部へ報告すること。
なお、この場合は、電話又は口頭による報告でもよい。

住家被害認定調査票

地震木造・プレハブ第1次A

調査票番号

■判定した住家の範囲が分かるように記載

調査日

令和 年 月 日

1 調査時

:

~

:

調査員

所在地

世帯主

2 住家

☐住家である(居住のために使用されている)

3 配置状況

4 応急危険度判定

危険

要注意

調査済

不明

■応急危険度判定調査表等に記載されている傾斜、コメント等を転記

5 外観

☐住家全部が倒壊
☐住家の一部の階が全部倒壊
☐一見して住家全部が流出又はずり落ち
☐基礎のいずれかの辺が全部破壊し、かつ基礎直下の地盤が流出・陥没
☐地盤面の亀裂が住家直下を縦断・横断

いずれかに該当

☐判定へ(全壊)

6 傾斜

測定箇所

①

②

③

④

平均値

水平距離(cm)

6cm以上(下げ振り120cmの場合)

☐判定へ(全壊)

7 躯体

☐基礎の損傷率が75%以上である(損傷長/全長×100)

損傷率75%以上

☐判定へ(全壊)

8 基礎

損傷率

0%

~10%

~20%

~40%

~60%

~74%

損害割合

0

1

2

4

6

7

9 壁

面積率

~10%

~20%

~40%

~60%

~80%

~100%

無被害

0

0

0

0

0

0

程度Ⅰ

1

2

3

5

6

8

程度Ⅱ

2

4

8

11

15

19

程度Ⅲ

4

8

15

23

30

38

程度Ⅳ

6

11

23

34

45

56

程度Ⅴ

8

15

30

45

60

75

10 屋根

面積率

~10%

~20%

~40%

~60%

~80%

~100%

無被害

0

0

0

0

0

0

程度Ⅰ

0

0

1

1

1

2

程度Ⅱ

0

1

2

2

3

4

程度Ⅲ

1

2

3

5

6

8

程度Ⅳ

1

2

5

7

9

11

程度Ⅴ

2

3

6

9

12

15

【損害割合算出表】

(注)「6傾斜」の平均値が2cm未満の場合「計あ」の値を、2cm以上の場合「計あ」又は「計い」のうち大きい値を住家の損害割合とする。

8基礎

+9壁

+10屋根

=計あ

傾斜無

6傾斜

+10屋根

=計い

傾斜有

15

判定

損害割合

10%未満

10%以上

20%以上

30%以上

40%以上

50%以上

☐準半壊に至らない(一部損壊)

☐準半壊

☐半壊

☐中規模半壊

☐大規模半壊

☐全壊

住家被害認定 調査票 地震 木造・プレハブ 第1次B		調査票 番 号	■判定した住家の範囲が分かるように記載	
調査日	令和 年 月 日	配置 状況		
1 調査時	: ~ :			
調査員				
所在地				
世帯主				
2 住 家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)			

4 応急危険 度判定	(危険) (要注意) (調査済) (不明)	■応急危険度判定調査表等に記載されている傾斜、コメント等を転記
---------------	--------------------------------	---------------------------------

5 外 観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊	いずれかに 該当	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
	<input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊		
	<input type="checkbox"/> 一見して住家全部が流出又はずり落ち		
	<input type="checkbox"/> 基礎のいずれかの辺が全部破壊し、かつ 基礎直下の地盤が流出・陥没		
	<input type="checkbox"/> 地盤面の亀裂が住家直下を縦断・横断		

6 傾 斜	測定箇所	①	②	③	④	平均値	6cm以上 (下げ振り120cm の場合)	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
	水平 距離 (cm)							

7 軀 体	<input type="checkbox"/> 基礎の損傷率が75%以上である (損傷長/全長×100)	損傷率 75%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
----------	--	--------------	--------------------------------------

8 基 礎	損害 割合	無被害	1	2	4	6	7
----------	----------	-----	---	---	---	---	---

9 壁	損害 割合	無被害	8	15	30	45	75
-----	----------	-----	---	----	----	----	----

10 屋 根	損害 割合	無被害	2	3	6	9	15
-----------	----------	-----	---	---	---	---	----

(備考)

【損害割合算出表】

<input type="checkbox"/> A「6傾斜」の平均値が2cm以上(6cm未満)である		Aに該当かつBに該当(傾斜有を計算)						
<input type="checkbox"/> B「9壁」の損害割合が無被害又は8である		上記以外						
(傾斜無を計算)								
傾 斜 無	8基礎	+ 9壁	+ 10屋根	= 計	傾 斜 有	6傾斜	+ 10屋根	= 計
						1 5		
判 定	損害割合	10%未満	10%以上	20%以上	30%以上	40%以上	50%以上	
		<input type="checkbox"/> 準半壊に至らない (一部損壊)	<input type="checkbox"/> 準半壊	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 中規模半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊	

住家被害認定調査票

地震

木造・プレハブ

第2次-1

調査票番号

3

外観

☐住家全部が倒壊又は住家の一部の階が全部倒壊

☐住家全部が流出又はずり落ち

☐地盤被害により基礎に著しい損傷

☐地盤面の亀裂が住家直下を縦断・横断

いずれかに該当

☐判定へ(全壊)

4

傾斜

①

②

③

④

水平距離 (cm)

平均値

☐判定へ(全壊)

6cm以上(下げ振り120cmの場合)

1

調査日

令和 年 月 日

1

調査時

: ~ :

調査員

所在地

世帯主

2

住家

☐住家である(居住のために使用されている)

5

基礎

損傷長 (m)

全長 (m)

損傷率 = 損傷長 / 全長 × 100

損傷率 75%以上

☐判定へ(全壊)

6

柱(又は耐力壁)

☐柱(又は耐力壁)の損傷率が75%以上

損傷率 75%以上

☐判定へ(全壊)

該当しない場合は2頁「7」以降へ

【損害割合算出表】

(注)d・g列は、四捨五入した値を記入する。
h列は、傾斜が2cm以上の場合のみ記入する。

部位	構成比	階別部位別損害割合		部位別損害割合	階別重み付け		重み付き損害割合	h (<input type="checkbox"/> 傾斜が2cm以上) 傾斜を考慮した損害割合 あ>い→d あ≤い→g
		主要階	その他階		主要階	その他階		
		B※	C※	b+c	b×1.25	c×0.5	e+f (e+f>a→a)	
9 外壁	10							
10 内壁	10							
11 床 (階敷含)	10							
5 基礎	10	「5.基礎」の損傷率×0.1→						
12 柱(又は耐力壁)	15			11%以上で全壊				
13 屋根	15							
14 天井	5							
15 建具	15							
16 設備	10							
※ B及びCは、調査票3頁のB及びCの値とする。				「あ」又は「い」(傾斜が2cm以上の場合は、「あ」、「い」又は「う」)の中で最大の値を住家の損害割合と				15%
計		あ		い				う
判定	損害割合	10%未満	10%以上	20%以上	30%以上	40%以上	50%以上	
		<input type="checkbox"/> 準半壊に至らない(一部損壊)	<input type="checkbox"/> 準半壊	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 中規模半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊	

調査票 番号	
-----------	--

--

主要階 ・ その他階
()階平面図 ・ 屋根伏図

主要階 ・ その他階
()階平面図 ・ 屋根伏図

A large grid of graph paper, consisting of a 20x20 square grid of cells. A vertical margin is present on the left side, containing the number 7. The grid is composed of light gray lines on a white background.

住家被害認定 調査票 地震 木造・プレハブ 第2次-3	調査票 番 号	

		主要階	その他階	計
8	床	(1)	(2)	1.0
	屋根	(3)	(4)	1.0

		主要階						
9	外壁	面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%
		計						
	10%	無被害	0	0	0	0	0	0
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1
	10%	程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5
	10%	程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10
	10%	計	計×(1)					
			B					
	10%	無被害	0	0	0	0	0	0
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1
	10%	程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5
	10%	程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10
	10%	計	計×(1)					
			B					
	10%	無被害	0	0	0	0	0	0
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1
	10%	程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5
	10%	程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10
	10%	計	計×(1)					
			B					
	15%	無被害	0	0	0	0	0	0
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2
	15%	程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8
	15%	程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15
	15%	計	計×(1)					
			B					
	15%	無被害	0	0	0	0	0	0
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2
	15%	程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8
	15%	程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15
	15%	計	計×(3)					
			B					
	5%	無被害	0	0	0	0	0	0
		程度Ⅰ	0	0	0	0	0	1
	5%	程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1
		程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3
	5%	程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4
		程度Ⅴ	1	1	2	3	4	5
	5%	計	計×(1)					
			B					
	15%	枚数率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%
		計						
	15%	無被害	0	0	0	0	0	0
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2
	15%	程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8
	15%	程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15
	15%	計	計×(1)					
			B					

		その他階						
		面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%
		計						
		無被害	0	0	0	0	0	0
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10
		計	計×(2)					
			C					
		無被害	0	0	0	0	0	0
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10
		計	計×(2)					
			C					
		無被害	0	0	0	0	0	0
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15
		計	計×(4)					
			C					
		無被害	0	0	0	0	0	0
		程度Ⅰ	0	0	0	0	0	1
		程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1
		程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3
		程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4
		程度Ⅴ	1	1	2	3	4	5
		計	計×(2)					
			C					
		枚数率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%
		計						
		無被害	0	0	0	0	0	0
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15
		計	計×(2)					
			C					

住家被害認定
調査票
地震
非木造
第1次

調査票
番号

■判定した住家の範囲が分かるように記載

調査日 令和 年 月 日

1 調査時 : ~ :

調査員

所在地

世帯主

2 住家 ☐住家である(居住のために使用されている)

配置状況

4 応急危険
度判定

危険
注意
調査済
不明

■応急危険度判定調査表等に記載されている傾斜、コメント等を転記

5 外観 ☐住家全部が倒壊 又は 住家の一部の階が全部倒壊

該当

6 傾斜

測定箇所 ① ② ③ ④ 平均値

傾斜
水平
距離
(cm)

7 傾斜
確認

☐傾斜の平均値が4cm(下げ振り120cm
の場合)以上
☐ (基礎ぐいを用いる住家について)
傾斜の平均値が2cm(下げ振り120cm
の場合)以上かつ最大沈下量又は
最大露出量30cm以上

いずれか
に該当

判定
(全壊)

8 柱・梁
の確認

☐ア. 外観目視により柱又は梁を確認できる場合
9柱(又は梁)、11雑壁・仕上等、12設備等を調査

☐イ. 外観目視により柱及び梁を確認できない場合
10外壁、12設備等を調査

9 柱
(又は梁)
(60%)

面積・本数率

無被害

0 0 0 0 0 0

計 ※45%以上
で全壊

10 外壁
(85%)

面積率

無被害

0 0 0 0 0 0

計

11 雑壁・仕上等
(25%)

面積率

無被害

0 0 0 0 0 0

計

12 設備等
(15%)

設備

損傷の状況

損害割合

計

【損害割合算出表】

ア. 外観目視により柱又は梁を確認できる場合

イ. 外観目視により柱及び梁を確認できない場合

6 傾斜

9 柱(又は梁)

11 雑壁・
仕上等

12 設備等

計

傾斜
無

傾斜
有

20

あ

い

6 傾斜

10 外壁

12 設備等

計

傾斜
無

傾斜
有

20

う

え

(注)「6傾斜」の平均値が2cm未満の場合、「あ」又は「う」を、2cm以上の場合、「あ」又は「い」若しくは「う」又は「え」のうち大きい値を損害割合とする。

判定

損害割合

10%未満

10%以上

20%以上

30%以上

40%以上

50%以上

□
準半壊に至らない
(一部損壊)

□
準半壊

□
半壊

□
中規模半壊

□
大規模半壊

□
全壊

住家被害認定
調査票
地震
非木造
第2次-1

調査票
番
号

調査日

令和 年 月 日

1 調査時

: ~ :

調査員

所在地

世帯主

2 住 家

☐住家である(居住のために使用されている)

7 構造の
確認

☐鉄骨造の場合
柱(本数で判定)
柱が見えない場合
↓
耐力壁(ブレース数で判定)
耐力壁が見えない場合
↓
外部仕上げ(面積で判定)

☐鉄筋コンクリートの場合
↓
・ラーメン構造の場合
柱(本数で判定)
↓
・壁式構造の場合
耐力壁(面積で判定)

9 内部仕上・天井

面積率

無被害

0

0

0

0

0

0

計

I

0

0

0

1

1

1

II

0

1

1

2

2

3

III

1

1

2

3

4

5

IV

1

2

3

5

6

8

V

1

2

4

6

8

10

11 柱(又は耐力壁)

面積・本数率

無被害

0

0

0

0

0

0

計

I

1

1

2

3

4

5

II

1

3

5

8

10

13

III

3

5

10

15

20

25

IV

4

8

15

23

30

38

V

5

10

20

30

40

50

13 建具

枚数率

無被害

0

0

0

0

0

0

計

I

0

0

0

0

0

1

II

0

0

1

1

1

1

III

0

1

1

2

2

3

IV

0

1

2

2

3

4

V

1

1

2

3

4

5

3 外観

☐住家全部が倒壊
☐住家の一部の階が全部倒壊

いずれかに
該当

4 傾斜

①

②

③

④

平均値

5 傾斜確認

☐傾斜の平均値が4cm(下げ振り120cmの場合)以上
☐ (基礎ぐいを用いる住家について)
傾斜の平均値が2cm(下げ振り120cmの場合)以上かつ最大沈下量又は最大露出量30cm以上

いずれかに
該当
該当しない場合は、
2頁「6」以降へ

8 外部仕上・雑壁・屋根

面積率

無被害

0

0

0

0

0

0

計

I

0

0

0

1

1

1

II

0

1

1

2

2

3

III

1

1

2

3

4

5

IV

1

2

3

5

6

8

V

1

2

4

6

8

10

10 床・梁

面積率

無被害

0

0

0

0

0

0

床計

I

0

0

0

1

1

1

II

0

1

1

2

2

3

III

1

1

2

3

4

5

IV

1

2

3

5

6

8

V

1

2

4

6

8

10

12 設備等(住家内)

設備

損傷の状況

損害割合

計

浴室

1%
配管のズレ等

2%
バスタブの割れ等

3%
再使用が不可能

台所

1%
配管のズレ等

2%
再使用が可能だが大きく破損

3%
再使用が不可能

その他

4%

14 設備等(住家外)

設備

損傷の状況

損害割合

計

高架水槽・受水槽

外部階段

その他

【損害割合算出表】

4傾斜

8外部仕上・雑壁・屋根

9内部仕上・天井

10床・梁
※大きい方

11柱
(又は耐力壁)

12設備等
(住家内)

13建具

14設備等
(住家外)

計

傾斜無

あ

傾斜有

20

い

(注)「4傾斜」の平均値が2cm未満の場合「あ」を、2cm以上の場合「あ」又は「い」のうち大きい値を損害割合とする。

判定

損害割合

10%未満

10%以上

20%以上

30%以上

40%以上

50%以上

☐準半壊に至らない
(一部損壊)

☐準半壊

☐半壊

☐中規模半壊

☐大規模半壊

☐全壊

住家被害認定
調査票
地震
非木造
第2次-2

調査票
番号

()階平面図

6

住家被害認定調査票 地盤被害による被害 木造・プレハブ 第1次		調査票番号 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div>	3 配置状況	■判定した住家の範囲が分かるように記載 <div style="border: 1px solid black; height: 150px; margin-top: 5px;"></div>	
1	調査日	令和 年 月 日			
1	調査時	: ~ :			
	調査員				
	所在地				
	世帯主				
2	住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)			

4 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊 <input type="checkbox"/> 一見して住家全部が流出又はずり落ち <input type="checkbox"/> 基礎のいずれかの辺が全部破壊し、かつ基礎直下の地盤が流出・陥没 <input type="checkbox"/> 地盤面の亀裂が住家直下を縦断・横断	いずれかに該当	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
5 地盤	<input type="checkbox"/> 床上1mまでのすべての部分が地盤面下に潜り込み	損害割合 50%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
	<input type="checkbox"/> 床までのすべての部分が地盤面下に潜り込み	損害割合 40%以上 50%未満	<input type="checkbox"/> 判定へ (大規模半壊)
	<input type="checkbox"/> 基礎の天端下25cmまでのすべての部分が地盤面下に潜り込み	損害割合 20%以上 30%未満	<input type="checkbox"/> 判定へ (半壊)

不同沈下がある場合の傾斜の判定

6 傾斜	測定箇所	①	②	③	④	平均値
	水平距離(cm)					

7 不同沈下のある傾斜	<input type="checkbox"/> 6cm以上(下げ振り120cmの場合)	損害割合 50%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
	<input type="checkbox"/> 2cm以上6cm未満(下げ振り120cmの場合)	損害割合 40%以上 50%未満	<input type="checkbox"/> 判定へ (大規模半壊)
	<input type="checkbox"/> 1.2cm以上2cm未満(下げ振り120cmの場合)	損害割合 20%以上 30%未満	<input type="checkbox"/> 判定へ (半壊)

(備考)

【判定表】

(注)地盤面下への潜り込み、不同沈下双方みられる場合には、双方の損害割合のうち大きい値を損害割合とする。

判定	損害割合	20%以上30%未満	40%以上	50%以上	判定に至らない
		<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊	<input type="checkbox"/> 水害等通常の被害認定調査へ

住家被害認定調査票		調査票番号		<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊又は住家の一部の階が全部倒壊 <input type="checkbox"/> 住家全部が流出又はずり落ち <input type="checkbox"/> 地盤被害により基礎に著しい損傷 <input type="checkbox"/> 地盤面の亀裂が住家直下を縦断・横断		<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
地盤被害による被害 木造・プレハブ 第2次						
1	調査日	令和	年	月	日	
1	調査時	:	:	~	:	
	調査員					
	所在地					
	世帯主					
2	住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)				

3 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊又は住家の一部の階が全部倒壊 <input type="checkbox"/> 住家全部が流出又はずり落ち <input type="checkbox"/> 地盤被害により基礎に著しい損傷 <input type="checkbox"/> 地盤面の亀裂が住家直下を縦断・横断				<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
	4 傾斜	①		6cm未満(下げ振り120cmの場合)	
		②			
		③			
		④			
水平距離(cm)				平均値	

5 地盤	<input type="checkbox"/> 床上1mまでのすべての部分が地盤面下に潜り込み	損害割合 50%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
	<input type="checkbox"/> 床までのすべての部分が地盤面下に潜り込み		【計算方法早見表】へ
	<input type="checkbox"/> 基礎の天端下25cmまでのすべての部分が地盤面下に潜り込み		【計算方法早見表】へ
	<input type="checkbox"/> 基礎の天端下25cmまでのうち、地盤面下に潜り込んでいない部分がある		【計算方法早見表】へ

不同沈下がある場合の傾斜の判定(傾斜は「4」の値を利用)

6 不同沈下のある傾斜	<input type="checkbox"/> 6cm以上(下げ振り120cmの場合)	損害割合 50%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
	<input type="checkbox"/> 2cm以上6cm未満(下げ振り120cmの場合)		【計算方法早見表】へ
	<input type="checkbox"/> 1.2cm以上2cm未満(下げ振り120cmの場合)		【計算方法早見表】へ
	<input type="checkbox"/> 1.2cm未満(下げ振り120cmの場合)		【計算方法早見表】へ

【計算方法早見表】			
傾斜	地盤(潜り込み)		
	(下げ振り120cmの場合)	床上以上	基礎の天端下25cm以上
	2cm以上6cm未満	【損害割合算出表】①へ	【損害割合算出表】④へ
	1.2cm以上2cm未満	【損害割合算出表】②へ	【損害割合算出表】⑤へ
	1.2cm未満	【損害割合算出表】③へ	【損害割合算出表】⑥へ
			通常の【損害割合算出表】へ

【損害割合算出表】									
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
1階の床面積(力)									
住家の延べ床面積(キ)									
カ/キ 1階の床面積割合(ク)									
		ク×20	ク×20	ク×30	ク×10				
9	外壁	10							
13	内壁	10							
15	床(階段含)	10	不同沈下がある場合 35	10	不同沈下がある場合 35	10	10	不同沈下がある場合 35	10
5	基礎	10	不同沈下がない場合 25	10	不同沈下がない場合 25	10	10	不同沈下がない場合 25	
11	柱(又は耐力壁)	15	11%以上で全壊	11%以上で全壊	11%以上で全壊	11%以上で全壊	11%以上で全壊	11%以上で全壊	11%以上で全壊
10	屋根	15							
12	天井	5							
14	建具	15							
16	設備	10							
計									

判定	損害割合	10%未満	10%以上	20%以上	30%以上	40%以上	50%以上
		<input type="checkbox"/> 準半壊に至らない(一部損壊)	<input type="checkbox"/> 準半壊	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 中規模半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

住家被害認定調査票		調査票番号		<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; background-color: #cccccc; padding: 5px;">3</div> <div style="margin-left: 10px;">配置状況</div> </div>		■判定した住家の範囲が分かるように記載	
地盤被害による被害 非木造 第1次							
調査日	令和 年 月 日						
1 調査時	: ~ :						
調査員							
所在地							
世帯主							
2 住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)						
4 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 又は 住家の一部の階が全部倒壊			該当		<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)	
5 地盤	<input type="checkbox"/> 床上1mまでのすべての部分が地盤面下に潜り込み			損害割合 50%以上		<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)	
	<input type="checkbox"/> 床までのすべての部分が地盤面下に潜り込み			損害割合 40%以上 50%未満		<input type="checkbox"/> 判定へ (大規模半壊)	
	<input type="checkbox"/> 基礎の天端下25cmまでのすべての部分が地盤面下に潜り込み			損害割合 20%以上 30%未満		<input type="checkbox"/> 判定へ (半壊)	
不同沈下がある場合の傾斜の判定							
6 傾斜	測定箇所	①	②	③	④	平均値	
	水平距離 (cm)						
7 不同沈下のある傾斜	<input type="checkbox"/> 6cm以上(下げ振り120cmの場合)			損害割合 50%以上		<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)	
	<input type="checkbox"/> 2cm以上6cm未満(下げ振り120cmの場合)			損害割合 40%以上 50%未満		<input type="checkbox"/> 判定へ (大規模半壊)	
	<input type="checkbox"/> 1.2cm以上2cm未満(下げ振り120cmの場合)			損害割合 20%以上 30%未満		<input type="checkbox"/> 判定へ (半壊)	

(備考)

【判定表】

(注)地盤面下への潜り込み、不同沈下双方みられる場合には、双方の損害割合のうち大きい値を損害割合とする。

判定	損害割合	20%以上30%未満	40%以上	50%以上	判定に至らない
		<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊	<input type="checkbox"/> 水害等通常の被害認定調査へ

住家被害認定
調査票
地盤被害による
被害
非木造
第2次

調査票
番 号

調査日

令和 年 月 日

1 調査時

:

~

:

調査員

所在地

世帯主

2 住 家

☐住家である(居住のために使用されている)

3 外 観

☐住家全部が倒壊
☐住家の一部の階が全部倒壊

☐判定へ
(全壊)

4 傾 斜

①

②

③

④

水平距離 (cm)

平均値

☐判定へ
(全壊)

5 地 盤

☐床上1mまでのすべての部分が地盤面下に潜り込み

→ 損害割合 50%以上 → ☐判定へ (全壊)

☐床までのすべての部分が地盤面下に潜り込み

→ 【計算方法早見表】へ

☐基礎の天端下25cmまでのすべての部分が地盤面下に潜り込み

→ 【計算方法早見表】へ

☐基礎の天端下25cmまでのうち、地盤面下に潜り込んでいない部分がある

→ 【計算方法早見表】へ

不同沈下がある場合の傾斜の判定(傾斜は「4」の値を利用)

6 不同沈下のある傾斜

☐6cm以上(下げ振り120cmの場合)

→ 損害割合 50%以上 → ☐判定へ (全壊)

☐2cm以上6cm未満(下げ振り120cmの場合)

→ 【計算方法早見表】へ

☐1.2cm以上2cm未満(下げ振り120cmの場合)

→ 【計算方法早見表】へ

☐1.2cm未満(下げ振り120cmの場合)

→ 【計算方法早見表】へ

【計算方法早見表】

(下げ振り120cmの場合)

傾斜

2cm以上6cm未満

【損害割合算出表】①へ

1.2cm以上2cm未満

【損害割合算出表】②へ

1.2cm未満

【損害割合算出表】③へ

地盤(潜り込み)

床上まで

【損害割合算出表】④へ

基礎の天端下25cmまで

【損害割合算出表】⑤へ

基礎の天端下25cm未満

【損害割合算出表】⑦へ

通常

【損害割合算出表】⑥へ

【損害割合算出表】

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

1階の床面積(カ)

1棟の延べ床面積(キ)

カ/キ

1階の床面積割合(ク)

ク×20

ク×20

ク×30

ク×10

8 外部仕上・雑壁・屋根

10

9 内部仕上・天井

10

10 床・梁

10

不同沈下がある場合
35

10

算出した損傷割合に+10
(最大50)

算出した損傷割合に+10
(最大50)

不同沈下がある場合
35

10

算出した損傷割合に+10
(最大50)

算出した損傷割合に+10
(最大50)

不同沈下がある場合
35

10

※38%以上で全壊

11 柱(又は耐力壁)

50

不同沈下がない場合
25

算出した損傷割合に+10
(最大50)

算出した損傷割合に+10
(最大50)

不同沈下がない場合
25

算出した損傷割合に+10
(最大50)

算出した損傷割合に+10
(最大50)

不同沈下がない場合
25

算出した損傷割合に+10
(最大50)

12 設備等(住家内)

10

13 建具

5

14 設備等(住家外)

5

計

判定

損害割合

10%未満

10%以上

20%以上

30%以上

40%以上

50%以上

☐準半壊に至らない
(一部損壊)

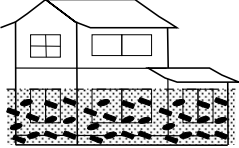
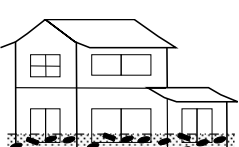


☐準半壊

☐半壊

☐中規模半壊

☐大規模半壊

☐全壊

住家被害認定調査票 水害 木造・プレハブ 第1次A(外力による一定以上の損傷あり)		調査票番号			3 配置状況	■判定した住家の範囲が分かるように記載	
調査日	令和 年 月 日						
1 調査時	: ~ :						
調査員							
所在地							
世帯主							
2 住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)						
4 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊 <input type="checkbox"/> 一見して住家全部が流失 <input type="checkbox"/> 基礎のいずれかの辺が全部破壊し、基礎直下の地盤が流出・陥没					いずれかに該当	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
5 構造	<input type="checkbox"/> 木造・プレハブである					該当しない項目がある	本調査票以外の適切な調査票を利用
6 階高	<input type="checkbox"/> 住家が戸建ての1~2階建てである						
7 外力	<input type="checkbox"/> 住家に津波、越流、堤防決壊等水流や泥流、瓦礫等の衝突等の外力が作用することにより、「外壁」及び「建具」の損傷程度が50~100%(程度Ⅲ~Ⅴで、浸水による損傷を除く。)に該当する損傷がある						
「5」~「7」すべてに該当							
8 浸水深							
	床上1.8m以上の浸水 (浸水深の最も浅い部分で測定)	住家の損害割合 50%以上	全壊	<input type="checkbox"/>			
	床上1m以上 1.8m未満の浸水 (浸水深の最も浅い部分で測定)	住家の損害割合 40%以上	大規模半壊	<input type="checkbox"/>			
	床上0.5m以上 1m未満の浸水 (浸水深の最も浅い部分で測定)	住家の損害割合 30%以上	中規模半壊	<input type="checkbox"/>			
	床上0.5m未満の浸水 (浸水深の最も浅い部分で測定)	住家の損害割合 20%以上	半壊	<input type="checkbox"/>			
	床下浸水 (浸水深の最も浅い部分で測定)	住家の損害割合 10%未満	準半壊に至らない (一部損壊)	<input type="checkbox"/>			
判定	損害割合	10%未満 <input type="checkbox"/> 準半壊に至らない (一部損壊)	20%以上 <input type="checkbox"/> 半壊	30%以上 <input type="checkbox"/> 中規模半壊	40%以上 <input type="checkbox"/> 大規模半壊	50%以上 <input type="checkbox"/> 全壊	

住家被害認定調査票 水害 木造・プレハブ サンプル調査その1		調査票 番 号	サンプル調査	
1	調査日	令和 年 月 日	2 住 家	<input type="checkbox"/> 区域内に住家がある (居住のために使用されている)
	調査時	: ~ :	3 構 造	<input type="checkbox"/> 2のうち、木造・プレハブの住家がある
	調査員		4 階 高	<input type="checkbox"/> 3のうち、木造・プレハブの戸建ての1～2階建ての住家がある
	所在地		5 外 力	<input type="checkbox"/> 4の住家すべてについて津波、越流、堤防決壊等水流や泥流、瓦礫等の衝突等の外力が作用することにより、「外壁」及び「建具」の損傷程度が50～100% (程度Ⅲ～Ⅴで、浸水による損傷を除く。)に該当する損傷がある
	世帯主			

該当しない項目がある

サンプル調査を行うには不適当であり、区域を見直す又は個別に調査を行う。

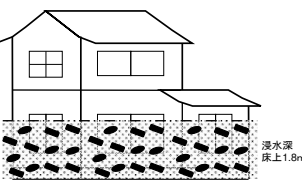
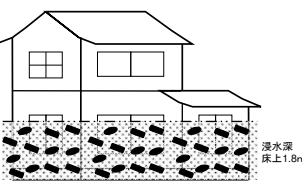
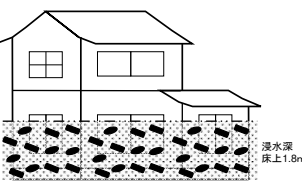
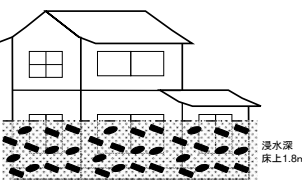
「2」～「5」すべてに該当

6 区域図	
<p>サンプル調査を行う区域の図面を添付。図面ではすべての住家の住棟の形と地形が明確であること サンプル調査を行った四隅の住家について、それぞれA,B,C,Dのマークを施し、「その2」の調査票で調査結果を記載すること。</p>	

判定	区域内における木造・プレハブの戸建ての1～2階建てのすべての住家※	50%以上
		<input type="checkbox"/> 全壊

※区域内の木造・プレハブの戸建ての1～2階建ての住家以外の住家については、別途個別に調査を行う。

住家被害認定 調査票 水害 木造・プレハブ サンプル調査その2	調査票 番 号		サンプル調査	

6 サンプル調査結果					
A		床上1.8m以上の浸水 (浸水深の最も浅い部分で測定)	住家の損害割合 50%以上	全壊	<input type="checkbox"/>
	上記に該当しない(床上1.8m未満の浸水)				<input type="checkbox"/>
B		床上1.8m以上の浸水 (浸水深の最も浅い部分で測定)	住家の損害割合 50%以上	全壊	<input type="checkbox"/>
	上記に該当しない(床上1.8m未満の浸水)				<input type="checkbox"/>
C		床上1.8m以上の浸水 (浸水深の最も浅い部分で測定)	住家の損害割合 50%以上	全壊	<input type="checkbox"/>
	上記に該当しない(床上1.8m未満の浸水)				<input type="checkbox"/>
D		床上1.8m以上の浸水 (浸水深の最も浅い部分で測定)	住家の損害割合 50%以上	全壊	<input type="checkbox"/>
	上記に該当しない(床上1.8m未満の浸水)				<input type="checkbox"/>

住家被害認定調査票 水害 木造・プレハブ 第1次B(外力による一定以上の損傷なし)		調査票番号 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100px; margin-top: 5px;"></div>	3 配置状況	
1	調査日	令和 年 月 日			
1	調査時	: ~ :			
	調査員				
	所在地				
	世帯主				

2	住 家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)	
4	外 観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊 <input type="checkbox"/> 一見して住家全部が流失 <input type="checkbox"/> 基礎のいずれかの辺が全部破壊し、基礎直下の地盤が流出・陥没	いずれかに該当 → □判定へ(全壊)
5	構 造	<input type="checkbox"/> 木造・プレハブである	該当しない項目がある → 本調査票以外の適切な調査票を利用 「5」～「7」すべてに該当
6	階 高	<input type="checkbox"/> 住家が戸建ての1～2階建てである	
7	外 力	<input type="checkbox"/> 津波、越流、堤防決壊等水流や泥流、瓦礫等の衝突等の外力が作用することにより、損傷程度が50～100%(程度Ⅲ～Ⅴで、浸水による損傷を除く。)に該当する損傷が「外壁」に1箇所も発生していない又は「建具(サッシ・ガラス・ドア)」に1箇所も発生していない	
8	浸水深		

<input type="checkbox"/> 浸水深が床上まで達していない(床下浸水)	損害割合 10%未満 → □判定へ(準半壊に至らない(一部損壊))
↓ 該当しない <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 第2次調査を実施 </div>	

	損害割合	10%未満	判定に至らない
判定		<input type="checkbox"/> 準半壊に至らない (一部損壊)	<input type="checkbox"/> (第2次調査を実施)

住家被害認定調査票

水害
木造・プレハブ
第2次A-1

調査票番号

令和 年 月 日

1 調査時 : ~ :

調査員

所在地

世帯主

2 住家 ☐ 住家である(居住のために使用されている)

配置状況

■戸建て1〜2階建てで外力による一定以上の損傷が発生している場合
■戸建ての1〜2階建てでない場合
■判定した住家の範囲が分かるように記載

4 外観

☐ 住家全部が倒壊
☐ 住家の一部の階が全部倒壊
☐ 一見して住家全部が流失
☐ 基礎のいずれかの辺が全部破壊し、基礎直下の地盤が流出・陥没

いずれかに該当

☐ 判定へ(全壊)

5 傾斜

測定箇所

① ② ③ ④ 平均値

水平距離 (cm)

6cm以上
(下げ振り)

☐ 判定へ(全壊)

6 躯体

☐ 柱(又は耐力壁)又は基礎の損傷率が75%以上である

損傷率
75%以上

☐ 判定へ(全壊)

7 基礎

外力等

損傷率

0% ~10% ~20% ~40% ~60% ~74% 計

0 1 2 4 6 7

汚泥

0 1 (口床下に汚泥が堆積している。)

「8」以降へ

【損害割算出表】

(注)d・g列は、四捨五入した値を記入する。
h列は、傾斜が2cm以上の場合のみ記入する。

部位	構成比	階別部位別損害割合		部位別 損害割合	階別重み付け		重み付き 損害割合	h (□傾斜が 2cm以上) 傾斜を考慮し た損害割合 あ>い→d あ≤い→g
		主要階	その他階		主要階	その他階		
		B※	C※	b+c	b×1.25	c×0.5	e+f (e+f>a→a)	
10 外壁	10							
11 内壁	10							
12 床 (階敷含)	10							
7 基礎	10	「7.基礎」の損害割合						
13 柱(又は 耐力壁)	15			11%以上で全壊				
14 屋根	15							
15 天井	5							
16 建具	15							
17 設備	10							
		※ B及びCは、調査票3頁のB及びCの値とする。		「あ」又は「い」(傾斜が2cm以上の場合は、「あ」、「い」又は「う」)の中で最大の値を住家の損害割合とする。				15%
		計		あ			い	う

判定

損害割合

10%未満
☐
準半壊に至らない
(一部損壊)

10%以上
☐
準半壊

20%以上
☐
半壊

30%以上
☐
中規模半壊

40%以上
☐
大規模半壊

50%以上
☐
全壊

住家被害認定 調査票	調査票 番号	
水害 木造・プレハブ 第2次A-3		

9	面積率	床	主要階	その他階	計
			(1)	(2)	1.0
9	面積率	屋根	(3)	(4)	1.0

		主要階							
10	外壁	面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(1)
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	B
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10			
11	内壁	面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(1)
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	B
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10			
12	床（階段含）	面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(1)
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	B
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10			
13	柱（又は耐力壁）	本数(面積)率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	計×(1)
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	B
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15			
14	屋根	面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	計×(3)
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	B
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15			
15	天井	面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	
		程度Ⅰ	0	0	0	0	0	1	
		程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1	計×(1)
		程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3	B
		程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4	
程度Ⅴ	1	1	2	3	4	5			
16	建具	枚数率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	計×(1)
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	B
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15			

その他階							
面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	
程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	C
面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	
程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	C
面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	
程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	C
本数(面積率)	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	
程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	C
面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
無被害	0	0	0	0	0	0	計×(4)
程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	
程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	C
面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
程度Ⅰ	0	0	0	0	0	1	
程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1	
程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3	
程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4	
程度Ⅴ	1	1	2	3	4	5	C
枚数率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	
程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	C

住家被害認定調査票

水害
木造・プレハブ
第2次B-1

調査票番号

配置状況

3

■戸建て1～2階建てで外力による一定以上の損傷が発生していない場合

■判定した住家の範囲が分かるように記載

調査日

令和 年 月 日

1 調査時

:

～

:

調査員

所在地

世帯主

2 住家

□住家である(居住のために使用されている)

4 外観

□住家全部が倒壊

□住家の一部の階が全部倒壊

□一見して住家全部が流失

□基礎のいずれかの辺が全部破壊し、基礎直下の地盤が流出・陥没

いずれかに該当

□判定へ
(全壊)

5 傾斜

測定箇所

①

②

③

④

平均値

6cm以上
(下げ振り)

□判定へ
(全壊)

6 躯体

□柱(又は耐力壁)又は基礎の損傷率が75%以上である

損傷率
75%以上

□判定へ
(全壊)

7 基礎

外力等

損傷率

割合

0%

～10%

～20%

～40%

～60%

～74%

計

0

1

2

4

6

7

0

1 (□床下に汚泥が堆積している。)

「8」以降へ

【損害割算出表】

(注)d・g列は、四捨五入した値を記入する。
h列は、傾斜が2cm以上の場合のみ記入する。

部位	構成比	階別部位別損害割合		部位別 損害割合	階別重み付け		重み付き 損害割合	h (□傾斜が 2cm以上) 傾斜を考慮し た損害割合 あ>い→d あ≤い→g
		主要階	その他階		主要階	その他階		
		B※	C※	b+c	b×1.25	c×0.5	e+f (e+f>a→a)	
10 外壁	10							
11 内壁	10							
12 床 (階敷含)	10							
7 基礎	10	「7.基礎」の損害割合						
13 柱(又は 耐力壁)	15			11%以上で全壊				
14 屋根	15							
15 天井	5							
16 建具	15							
17 設備	10							
		※B及びCは、調査票3頁のB及びCの値とする。		「あ」又は「い」(傾斜が2cm以上の場合は、「あ」、「い」又は「う」)の中で最大の値を住家の損害割合とする。				15%
		計		あ			い	う

判定

損害割合

10%未満

10%以上

20%以上

30%以上

40%以上

50%以上

□
準半壊に至らない
(一部損壊)

□
準半壊

□
半壊

□
中規模半壊

□
大規模半壊

□
全壊

住家被害認定 調査票	調査票 番号	
水害 木造・プレハブ 第2次B-3		

9	面積 率	床	主要階	その他階	計
			(1)	(2)	1.0
9	面積 率	屋根	(3)	(4)	1.0

		主要階							
10	外壁	面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(1)
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	B
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10			
11	内壁	面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(1)
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	B
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10			
12	床（階段含）	面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(1)
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	B
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10			
13	柱（又は耐力壁）	本数(面積)率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	計×(1)
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	B
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15			
14	屋根	面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	計×(3)
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	B
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15			
15	天井	面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	
		程度Ⅰ	0	0	0	0	0	1	
		程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1	計×(1)
		程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3	B
		程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4	
程度Ⅴ	1	1	2	3	4	5			
16	建具	枚数率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	計×(1)
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	B
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15			

その他階							
面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	
程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	C
面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	
程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	C
面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	
程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	C
本数(面積)率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	
程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	C
面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
無被害	0	0	0	0	0	0	計×(4)
程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	
程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	C
面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
程度Ⅰ	0	0	0	0	0	1	
程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1	
程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3	
程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4	
程度Ⅴ	1	1	2	3	4	5	C
枚数率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	
程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	C

		階	損傷の状況			主要階/その他階	損傷の状況	%	計	
17	設備	浴室 (3%以内)	主要階 ・ その他階	1%. 配管のズレ等 2%. バスタブの割れ等 3%. 再使用が不可能	その他 (左記以外 の水回り、 ペランダ等 4%以内)				主要階	B
	10 %	台所 (3%以内)	主要階 ・ その他階	1%. 配管のズレ等 2%. 再使用は可能だが大きく破損 3%. 再使用が不可能					その他階	C

住家被害認定調査票		水害		非木造-1		調査票番号		配置状況		■判定した住家の範囲が分かるように記載											
調査日		令和		年		月														日	
1 調査時		:		~		:															
調査員																					
所在地																					
世帯主																					
2 住家																					
4 外観																					
5 傾斜																					
6 傾斜確認																					
7 構造の確認																					
8 以降へ																					
9 外部仕上・雑壁・屋根																					
10 内部仕上・天井																					
11 床・梁																					
12 柱(又は耐力壁)																					
13 設備																					
14 建具																					
15 設備等(住家外)																					
【損害割合算出表】																					
判定																					

住家被害認定 調査票		調査票 番号		()階平面図																
水害 非木造-2																				
8																				

住家被害認定
調査票

風害

木造・プレハブ
-1

調査票
番 号

配置
状況

■判定した住家の範囲が分かるように記載

調査日 令和 年 月 日

1 調査時 : ~ :

調査員

所在地

世帯主

2 住 家 ☐住家である(居住のために使用されている)

4 外 観 ☐住家全部が倒壊 又は 住家の一部の階が全部倒壊

該当 →

☐判定へ
(全壊)

5 傾 斜

測定箇所

①

②

③

④

平均値

6cm以上
(下げ振り120cm
の場合)

☐判定へ
(全壊)

6 屋根等

☐屋根等に脱落、破損等の損傷が生じておらず、住家内への浸水のおそれがない

該当 →

☐判定へ
(準半壊に至らない
(一部損壊))

7 躯体

☐基礎又は柱(又は耐力壁)の損傷率が75%以上である

損傷率 75%以上 →

☐判定へ
(全壊)

8 基礎

損傷率

0%

~10%

~20%

~40%

~60%

~74%

「9」以降へ →

8 基礎

損傷割合

0

1

2

4

6

7

【損害割合算出表】

(注)d・g列は、四捨五入した値を記入する。
h列は、傾斜が2cm以上の場合のみ記入する。

部位	構成比	階別部位別損害割合		部位別 損害割合	階別重み付け		重み付き 損害割合	h (□傾斜が2cm 以上) 傾斜を考慮した 損害割合	
		主要階	その他階		主要階	その他階			
		B※	C※	b+c	b×1.25	c×0.5	e+f (e+f>a→a)		あ>い→d あ≤い→g
11 外壁	10								
12 内壁	10								
13 床 (階敷)	10								
8 基礎	10	「8.基礎」の損害割合 →							
14 柱(又は 耐力壁)	15			11%以上で全壊					
15 屋根	15								
16 天井	5								
17 建具	15								
18 設備	10								
		※ B及びCは、調査票3頁のB及びCの値とする。						15%	
計		あ		「あ」又は「い」(傾斜が2cm以上 の場合は、「あ」、「い」又は 「う」)の中で最大の値を住家 の損害割合とする。				い	う

判定

損害割合

10%未満

☐
準半壊に至らない
(一部損壊)

10%以上

☐
準半壊

20%以上

☐
半壊

30%以上

☐
中規模半壊

40%以上

☐
大規模半壊

50%以上

☐
全壊

住家被害認定 調査票 風害 木造・プレハブ -3	調査票 番 号	

		主要階	その他階	計
10	床	(1)	(2)	1.0
	屋根	(3)	(4)	1.0

		主要階						
11	外壁	面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%
		無被害	0	0	0	0	0	0
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8
12	内壁	面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%
		無被害	0	0	0	0	0	0
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8
13	床 (階段含)	面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%
		無被害	0	0	0	0	0	0
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8
14	柱 (又は耐力壁)	本数(面積)率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%
		無被害	0	0	0	0	0	0
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11
15	屋根	面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%
		無被害	0	0	0	0	0	0
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11
16	天井	面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%
		無被害	0	0	0	0	0	0
		程度Ⅰ	0	0	0	0	0	1
		程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1
		程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3
		程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4
17	建具	枚数率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%
		無被害	0	0	0	0	0	0
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11
18	設備	箇所	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%
		浴室 (3%以内)	主要階 その他階	1%. 配管のズレ等 2%. バスタブの割れ等 3%. 再使用が不可能				
		台所 (3%以内)	主要階 その他階	1%. 配管のズレ等 2%. 再使用は可能だが大きく破損 3%. 再使用が不可能				

		その他階						
11	外壁	面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%
		無被害	0	0	0	0	0	0
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8
12	内壁	面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%
		無被害	0	0	0	0	0	0
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8
13	床 (階段含)	面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%
		無被害	0	0	0	0	0	0
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8
14	柱 (又は耐力壁)	本数(面積)率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%
		無被害	0	0	0	0	0	0
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11
15	屋根	面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%
		無被害	0	0	0	0	0	0
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11
16	天井	面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%
		無被害	0	0	0	0	0	0
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11
17	建具	枚数率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%
		無被害	0	0	0	0	0	0
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11
18	設備	箇所	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%
		浴室 (3%以内)	主要階 その他階	1%. 配管のズレ等 2%. バスタブの割れ等 3%. 再使用が不可能				
		台所 (3%以内)	主要階 その他階	1%. 配管のズレ等 2%. 再使用は可能だが大きく破損 3%. 再使用が不可能				

住家被害認定
調査票
風害
非木造-1

調査票
番 号

調査日 令和 年 月 日

1 調査時 : ~ :

調査員

所在地

世帯主

2 住 家 ☐住家である(居住のために使用されている)

配置状況

4 外観 ☐住家全部が倒壊
☐住家の一部の階が全部倒壊

5 傾斜 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

6 外部仕上 等の損傷 ☐外部仕上り等に脱落・破損等の損傷が生じ、住家内への浸水の恐れがある。 ☐該当なし ☐判定へ (一部損壊10%未満)

7 構造の確認 ☐鉄骨造の場合 柱(本数で判定) 耐力壁(ブレース数で判定) 外部仕上り(面積で判定) ☐鉄筋コンクリートの場合 フォーム造の場合 柱(本数で判定) 耐力壁(面積で判定)

9 外部仕上・雑壁・屋根 面積率 無被害 0 0 0 0 0 0 計 10%

10 内部仕上・天井 面積率 無被害 0 0 0 0 0 0 計 10%

11 床・梁 面積率 無被害 0 0 0 0 0 0 計 10%

12 柱(又は耐力壁) 面積・本数率 無被害 0 0 0 0 0 0 計 ※38%以上で全壊

13 設備 設備等(住室内) 浴 1% 2% 3% 計 10%

14 建具 枚数率 無被害 0 0 0 0 0 0 計 5%

15 設備 設備等(住外) 高架水槽・受水槽 外部階段 その他 計 5%

【損害割合算出表】

	5傾斜	9外部仕上・雑壁・屋根	10内部仕上・天井	11床・梁 ※大きい方	12柱 (又は耐力壁)	13設備等 (住室内)	14建具	15設備等 (住家外)	計
傾斜無									あ
傾斜有	20								い

(注)「4傾斜」の平均値が20未満の場合「あ」を、20以上の場合「あ」又は「い」のうち大きい値を損害割合とする。

判定	損害割合	10%未満	10%以上	20%以上	30%以上	40%以上	50%以上
		<input type="checkbox"/> 準半壊に至らない (一部損壊)	<input type="checkbox"/> 準半壊	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 中規模半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

住家被害認定 調査票		調査票 番号		()階平面図																
風害 非木造-2																				
8																				

家屋被害状況報告書

（資産税課⇒市災害対策本部）

報告日時	年 月 日 時	所属部課		報告者	
------	---------	------	--	-----	--

速報・確定 年 月 日現在

区 分		棟 数	世 帯 主	世 帯 人 員	被 害 金 額	被害程度及びその 応 急 対 策 状 況
住 家 の 被 害	全 壊	棟	世帯 ()	人 ()	千円	
	大規模半壊		()	()		
	中規模半壊		()	()		
	半 壊		()	()		
	準半壊		()	()		
	一部損壊		()	()		
	床上浸水		()	()		
	床下浸水		()	()		
非住家 の被害						

- 注意事項 1 ()内には、世帯数、世帯人員のうちり災世帯数、り災世帯人員を内書きすること。
- 2 家屋被害状況調査票を添付すること。

様式第7（風水害－第3編第3章第1節、地震－第3編第3章第1節）

衛生施設関係被害状況報告書

（水道工務課・下水道課、市民課、健康推進課・ごみ資源循環課⇒市災害対策本部）

報告日時	年 月 日 時	所属部課		報告者	
------	---------	------	--	-----	--

速報・確定 年 月 日現在

区 分		施 設 数	棟 数	被 害 金 額	備 考
医療関係施設	病 院			円	
	診 療 所				
	薬 局				
	小 計				
上水道施設	浄 水 場				
	水 道 管				
	そ の 他				
	小 計				
下水道施設	ポ ン プ 場				
	下 水 道 管				
	そ の 他				
	小 計				
環境衛生関係施設	し尿処理施設				
	ごみ処理施設				
	火 葬 場				
	そ の 他				
	小 計				
そ の 他					
合 計					
被害程度及びその応急対策状況					

商工業および観光施設関係被害状況報告書

(商工課⇒市災害対策本部)

報告日時		年 月 日 時	所属部課		報告者			
速報・確定 年 月 日現在								
区 分		被害 件数	被害 金額	内 訳				
				建 物		施 設	商 品	半原 製材 品料
				棟 数	被害額			
工 業	織 維		円		円	円	円	円
	機 械 金 属							
	木 工							
	陶 磁 器							
	そ の 他							
	小 計							
商 業								
観 光 関 係								
鉱 業								
そ の 他								
計								
被害程度及びその応急対策状況								

様式第9（風水害－第3編第3章第1節、地震－第3編第3章第1節）

農業関係被害状況報告書

（農務課⇒市災害対策本部）

報告日時	年 月 日 時	所属部課		報告者	
------	---------	------	--	-----	--

速報・確定 年 月 日現在

1 農 地

区 分		被害面積（ha）	主 な 被 害 地 域
田	流失・埋没		
	冠 水		
畑	流失・埋没		
	冠 水		

2 農 作 物

区 分	種 類	被害面積	減 収 量	被害金額	主 な 被 害 地 域
水 陸 稲		ha	t	円	
麦 類					
野菜類					
	そ の 他				
	小 計				
果樹類					
	そ の 他				
	小 計				
その他					
	そ の 他				
	小 計				
合 計					

3 園芸施設

区分 施設名	全 壊		半 壊		一 部 破 損		計		被 害 面 積 ha	主 な 被害地域
	件数	被害金額	件数	被害金額	件数	被害金額	件数	被害金額		
計										

4 畜 産

区分 施設名	全 壊		半 壊		一 部 破 損		計		被 害 頭羽数	主 な 被害地域
	件数	被害金額	件数	被害金額	件数	被害金額	件数	被害金額		
計										

注意事項 被害程度及びその応急対策状況を別紙により添付すること。
「被害金額」は、千円単位とする。

様式第 10（風水害－第 3 編第 3 章第 1 節、地震－第 3 編第 3 章第 1 節）

社会福祉施設関係被害状況報告書（総括表）

（社会福祉課・障害福祉課・保育課・総合福祉センター⇒市災害対策本部）

報告日時	年 月 日 時	所属部課		報告者	
------	---------	------	--	-----	--

速報・確定 年 月 日現在

施設区分 被害区分							被害程度及びその 応 急 対 策 状 況
建 物	全 壊 (全 焼)		箇所数				
			金 額				
	半 壊 (半 焼)		箇所数				
			金 額				
	一部破損 (一部焼失)		箇所数				
			金 額				
	浸 水	床 上	箇所数				
			金 額				
		床 下	箇所数				
			金 額				
	そ の 他		箇所数				
			金 額				
そ の 他	工 作 物		箇所数				
			金 額				
	設 備 備 品		箇所数				
			金 額				
	土 地		箇所数				
			金 額				
	そ の 他		箇所数				
			金 額				
計		箇所数					
		金 額					

注意事項 「金額」は、千円単位とする。

社会福祉施設関係被害状況報告書 (個別表)

施 設 名	
安 城 保 育 園	
あ け ぼ の 保 育 園	
南 部 保 育 園	
西 部 保 育 園	
和 泉 保 育 園	
東 端 保 育 園	
城 ケ 入 こ ど も 園	
東 部 こ ど も 園	
高 棚 こ ど も 園	
志 貴 保 育 園	
小 川 保 育 園	
さ く ら 保 育 園	
二 本 木 保 育 園	
ゆ た か 保 育 園	
え の き こ ど も 園	
み の わ 保 育 園	
新 田 保 育 園	
赤 松 保 育 園	
三 ツ 川 こ ど も 園	
み そ の 保 育 園	
桜 井 保 育 園	
錦 保 育 園	
作 野 保 育 園	
光 徳 保 育 園	
安 城 北 す ず ら ん 保 育 園	
よ さ み 保 育 園	
こ ひ つ じ 保 育 園	
第 2 よ さ み 保 育 園	
ち い さ な こ だ か ら 保 育 園	
げ ん き の も り 保 育 園	
じ け い の 森 保 育 園	
て ら べ サ ニ ー サ イ ド 保 育 園	
ブ ラ イ ト 保 育 園 安 城 桜 町	
麦 の う さ ぎ 保 育 園	
サ ル ビ ア 学 園	
安 城 こ ど も 園	
さ く の こ ど も 園	
安 城 北 部 こ ど も 園	
東 栄 こ ど も 園	

施 設 名	
根 崎 こ ど も 園	
てらベクリエイティブこども園	
子 宝 保 育 園	
慈 恵 幼 稚 園	
第 二 慈 恵 幼 稚 園	
に ほ ん ぎ 幼 稚 園	
桜 井 こ ど も 園	
スマイリーこども園さとまち	
合 計	

注意事項 被害を受けた各建物、工作物、設備・備品等について、それぞれごとに名称、数量（面積、個数等）、金額を記載すること。

様式第12（風水害－第3編第3章第1節、地震－第3編第3章第1節）

土木施設関係被害状況報告書

（維持管理課⇒市災害対策本部）

報告日時	年 月 日 時	所属部課		報告者	
------	---------	------	--	-----	--

速報・確定 年 月 日現在

区 分	箇 所 数	被害金額(千円)	備 考
道 路			
橋 梁			
河 川			
下 水 道			
公 園			
街 路 樹			
街 路 燈			
そ の 他			
計			

被害程度及びその応急対策状況	
----------------	--

文教施設関係被害状況報告書（総括表）

（教育委員会⇒市災害対策本部）

報告日時	年 月 日 時	所属部課		報告者	
------	---------	------	--	-----	--

速報・確定 年 月 日現在

施設区分 被害区分			小学校	中学校	高等学校	その他	計	
建物	全壊 (全焼)		箇所数					
			金額					
	半壊 (半焼)		箇所数					
			金額					
	一部破損 (一部焼失)		箇所数					
			金額					
	浸水	床上	箇所数					
			金額					
		床下	箇所数					
			金額					
	その他		箇所数					
			金額					
	その他	工作物		箇所数				
				金額				
設備品		箇所数						
		金額						
土地 (校地)		箇所数						
		金額						
その他		箇所数						
		金額						
計		箇所数						
		金額						

- 注意事項
- 1 施設区分欄の「その他」は、県特別支援学校及び短大
 - 2 「箇所数」は、各校、各園を1とし、「金額」は、千円単位とする。
 - 3 市立以外は（ ）に外書にする。
 - 4 被害程度及びその応急対策状況を別紙により添付すること。

様式第 1 4 (風水害－第 3 編第 3 章第 1 節、地震－第 3 編第 3 章第 1 節)

文教施設関係被害状況報告書 (個別表)

施 設 名	被 害 状 況
中 部 小 学 校	
南 部 小 学 校	
西 部 小 学 校	
東 部 小 学 校	
北 部 小 学 校	
錦 町 小 学 校	
高 棚 小 学 校	
明 和 小 学 校	
志 貴 小 学 校	
桜 井 小 学 校	
作 野 小 学 校	
祥 南 小 学 校	
丈 山 小 学 校	
二 本 木 小 学 校	
里 町 小 学 校	
桜 町 小 学 校	
桜 林 小 学 校	
新 田 小 学 校	
今 池 小 学 校	
三河安城小学校	
梨 の 里 小 学 校	
計	
南 中 学 校	
北 中 学 校	
明 祥 中 学 校	
西 中 学 校	
桜 井 中 学 校	
東 山 中 学 校	
安 祥 中 学 校	
篠 目 中 学 校	
計	

- 注意事項 1 被害を受けた各建物、工作物、設備・備品等について、それぞれごとに名称、数量 (面積、個数等)、金額を記載すること。
- 2 私立幼稚園、県特別支援学校、高校、短大についても、把握できる範囲でこの表に準じて作成すること。

様式第 1 5 (風水害－第 3 編第 3 章第 1 節、地震－第 3 編第 3 章第 1 節)

市有財産関係被害状況報告書

(各 部⇒市災害対策本部)

報告日時	年 月 日 時	所属部課		報告者	
------	---------	------	--	-----	--

速報・確定 年 月 日現在

施設名	区 分	数 量	被害金額	施設名	区 分	数 量	被害金額
	全壊 (全焼)	棟	千円		全壊 (全焼)	棟	千円
	流 失				流 失		
	半壊 (半焼)				半壊 (半焼)		
	浸 床 上				浸 床 上		
	水 床 下				水 床 下		
	一部破損・焼失				一部破損・焼失		
	小 計				小 計		
	全壊 (全焼)			敷 地	流 失	m ²	
	流 失				そ の 他	m ²	
	半壊 (半焼)			そ の 他	施 設	箇所	
	浸 床 上				物 品	個	
	水 床 下				そ の 他		
	一部破損・焼失			合 計			
	小 計						
被害程度及びその応急対策状況							

様式第 1 6－1（風水害－第 3 編第 3 章第 1 節、地震－第 3 編第 3 章第 1 節）

(災害概況即報)										報告日時		年 月 日 時 分					
										都道府県							
消防庁受信者氏名										市町村 (消防本部名)							
災害名										(第 報)		報告者名					
災害の概況	発生場所								発生日時		月 日 時 分						
被害の状況	人的被害	死 者		人	重 傷		人	住家被害	全 壊		棟	床上浸水		棟			
									半 壊		棟	床下浸水		棟			
		不 明		人	軽 傷		人		一部破損		棟	未分類		棟			
	119番通報の件数																
応急対策の状況	災害対策本部等の設置状況		(都道府県)						(市町村)								
	消 防 機 関 等 の 活 動 状 況		(地元消防本部、消防団、消防防災ヘリコプター、消防組織法第39条に基づく応援消防本部等について、その出動規模、活動状況等をわかる範囲で記入すること。)														
	自 衛 隊 派 遣 要 請 の 状 況																
その他都道府県又は市町村が講じた応急対策																	

(注) 第1報については、迅速性を最優先とし可能な限り早く（原則として、覚知後30分以内）分かる範囲で記載して報告すること。（確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨（「未確認」等）を記入して報告すれば足りること。）

(注) 住家被害のうち、その程度が未確定のものについては、「未分類」の欄に計上すること。

様式第16-2（風水害－第3編第3章第1節、地震－第3編第3章第1節）

災害発生状況等（速報・確定報告）

月 日 時現在

原 因						発 生 日 時								
発 生 場 所				安城市 町										
発 信 機 関						発 信 者								
受 信 機 関						受 信 者								
区 分				被害	区 分			被害	区 分			被害		
人的被害	死 者	1	人		河川	橋 り よ う	31	箇所		その他	水産被害	61	千円	
	行方不明者	2	人			破 堤	32	箇所			商工被害	62	千円	
	負傷者	3	人			越 水	33	箇所			そ の 他	63	千円	
	軽 傷 者	4	人			そ の 他	34	箇所			被 害 総 額	64	千円	
住家被害	全 壊	5	棟		その他	港 湾 ・ 漁 港	35	箇所		災害対策本部	65	設置		
		6	世帯			砂 防	36	箇所			設 置 状 況	66	廃止	
		7	人			崖 く ず れ	37	箇所		避難の勧告 指示等の状況	67	地区		
	半 壊	8	棟			地 す べ り	38	箇所			68	世帯		
		9	世帯			土 石 流	39	箇所			69	人		
		10	人			水 道	40	箇所		消防職員出動延人員	70	人		
	一 部 破 損	11	棟			清 掃 施 設	41	箇所		消防団員出動延人員	71	人		
		12	世帯			鉄 道 不 通	42	箇所		避難所数	72	か所		
		13	人			被 害 船 舶	43	隻		避難人数	73	人		
	床 上 浸 水	14	棟			電 話	44	回線		避難人数 (うち自主避難)	74	人		
		15	世帯			電 気	45	戸		避難世帯数	75	世帯		
		16	人			ガ ス	46	戸		避難世帯数 (うち自主避難)	76	世帯		
	床 下 浸 水	17	棟			ブ ロ ッ ク 塀 等	47	箇所		被害程度及び応急対策状況(経過)				
		18	世帯			り 災 世 帯 数	48	世帯						
		19	人			り 災 者 数	49	人						
非住家	公 共 建 物	20	棟		火災発生	建 物	50	件						
	そ の 他	21	棟			危 険 物	51	件						
その他の	田	流失・埋没	22	ha		そ の 他	そ の 他	52	件					
		冠 水	23	ha			公 立 文 教 施 設	53						
	畑	流失・埋没	24	ha		農 林 水 産 業 施 設	54	千円		要 請 事 項				
		冠 水	25	ha		公 共 土 木 施 設	55	千円						
	文 教 施 設	26	箇所		その他の公共施設	56	千円							
	病 院	27	箇所		小 計	57	千円							
	道路	損 壊	28	箇所		その他	農 産 被 害	58	千円					
		冠 水	29	箇所			林 産 被 害	59	千円					
(通行不能)		30	箇所		畜産被害		60	千円						

注意事項 速報の場合は53から64の項目については報告する必要はない。

様式第 17（風水害－第 3 編第 3 章第 1 節、地震－第 3 編第 3 章第 1 節）

人的被害・住家被害

（第 報）

報 告 の 時 限		日 時 分現在		受 信 時 刻		時 分	
発 信 機 関				受 信 機 関			
発 信 者 名				受 信 者 名			
内 容							
発 生	日 時	日 時 分					
	場 所						
	原 因						
人 的 被 害 の 状 況	被 害 程 度	1 死亡 2 行方不明 3 重傷 4 軽傷					
	氏 名 等	(氏名) (生年月日) (性別)					
	住 所						
	収 容 先						
	その他参考事項（応急処置、情報源、確認・未確認の別、世帯主及び続柄等）						
住 家 被 害 の 状 況	全 壊	半 壊	一部破損	床上浸水	床 下 浸 水		
	棟	棟	棟	棟	棟		
	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯		
	人	人	人	人	人		
	応急対策の状況						

避難状況・救護所開設状況

(第 報)

報告の期限		日 時 分現在		受信時刻		時 分					
発信機関				受信機関							
発信者名				受信者名							
内 容											
避難状況	避難先	地区名	避難勧告、指示の種別及び日時	避難勧告世帯数	避難勧告人数	避難世帯数	避難実人数	屋内屋外の別	今後の見通し	最大世帯数	最大人数
			(勧告)(指示) 日 時 分 (自主)	世帯	人	世帯	人	屋内 屋外		世帯	人
			(勧告)(指示) 日 時 分 (自主)					屋内 屋外			
			(勧告)(指示) 日 時 分 (自主)					屋内 屋外			
			(勧告)(指示) 日 時 分 (自主)					屋内 屋外			
			(勧告)(指示) 日 時 分 (自主)					屋内 屋外			
			(勧告)(指示) 日 時 分 (自主)					屋内 屋外			
			(勧告)(指示) 日 時 分 (自主)					屋内 屋外			
救護所開設状況	救護所名		設置場所		患者数		実施機関	収容人数の最大値			
					受入	搬送		重傷	軽傷		

※最大世帯数及び最大人数については、避難先毎の最大数を記入すること。

公共施設被害

(第 報)

報告の時刻		日 時 分現在	受信時刻	時 分
発信機関			受信機関	
発信者名			受信者名	
内 容				
被害区分		ア 道路 イ 橋梁 ウ 河川 エ 上水道施設 オ 下水道施設 カ 公園 キ 街路樹 ク 街路燈 ケ 占用物 コ 民間施設 サ その他（ ）		
発生	日 時	日 時 分	原因	
	場 所		住宅地図	
状況	被害区域 目 標 物			
	管 理 者	(電話)		
	被害程度 (概要)			
	応急対策 の 状 況			
	復旧見込			
	その他 参考事項			

罹災状況調査票兼罹災台帳

						被害の 程度		
世帯主又は 代表者	住所							
	氏名				年齢		職業	
罹災状況								
家 族 の 状 況								
氏 名	生 年 月 日	年齢	性別	続 柄	職業又は 学校名	死亡・重傷・軽傷・ 行方不明の別		備 考
	年 月 日							
	年 月 日							
	年 月 日							
	年 月 日							
	年 月 日							
	年 月 日							
	年 月 日							
	年 月 日							
罹災証明書の受付日 及び交付日		受付日		月 日		交付日		月 日
災害救助法による応急救助の状況()								
世帯内の者で下欄の救助を受けたものがあるときは、番号を○で囲むこと。								
1 避 難 所		2 生活資金の貸与			3 学用品の給与			
4 焚き出しその他食料給与		5 被服寝具その他生活必需品 の給与又は貸与			6 埋 葬			
7 応急仮設住宅		8 医 療			9 死体の処理			
10 住宅応急修理		11 助 産			12 障害物の除去			
罹 災 状 況	全壊(焼)・流失	棟	調 査 日		平成 年 月 日			
	大規模半壊	棟	調査担当者					
	半壊	棟	備考					
	一部損壊	棟						
	床上浸水	%						
	床下浸水	%						
自敷地・借地		自家・借家						

安城市長 様

年 月 日

受付番号 り第 号

罹災証明書交付申請書

罹災証明書の交付について、次のとおり申請します。

- ☐ 安城市が被害認定調査を迅速に行うため、固定資産課税台帳等に記載された建物の所在・地番、床面積、構造及び図面等の情報を利用することを承諾します。
- ☐ 罹災証明書に係る情報を市の関係部署に提供すること及び住家の被害認定調査に協力することを承諾します。

申請者住所	〒 ー		TEL
申請者氏名	フリガナ	罹災者との関係 <input type="checkbox"/> 本人及び世帯員 <input type="checkbox"/> その他 ※その他の場合は委任状が必要	
この証明書の 必要数及び使用目的	通	(使用目的)	
書類の送付先 <small>※申請者住所と異なる場合のみ記入</small>	〒 ー		
罹災世帯主住所	<input type="checkbox"/> 申請者の住所と同じ(記載不要)		
罹災世帯主氏名	<input type="checkbox"/> 申請者の氏名と同じ(記載不要) フリガナ		
罹災世帯構成員	氏 名	続 柄	生年月日
		世帯主	
罹災原因	<input type="checkbox"/> 地震 <input type="checkbox"/> 豪雨 <input type="checkbox"/> 暴風 <input type="checkbox"/> その他()		
罹災年月日	年 月 日		
特記事項 <small>(住家以外の被害状況)</small>			
罹災住家※の 所在地	<input type="checkbox"/> 申請者の住所と同じ(記載不要)		

※住家とは、現実に居住(世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。)のために使用している建物のこと。(被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家)
※住家被害がある場合に限り、罹災証明書申請可能

- ☐ 「自己判定方式」によることを希望します。
また、被害の判定について、「準半壊に至らない(一部損壊)」の判定と決定されることに同意します。

以下は記入しないでください。

添付書類	<input type="checkbox"/> 罹災状況が確認できる写真等(罹災物件写真) <input type="checkbox"/> 罹災場所の位置図 <input type="checkbox"/> その他市長が必要と認める書類
本人確認書類	<input type="checkbox"/> 運転免許証 <input type="checkbox"/> パスポート <input type="checkbox"/> マイナンバーカード <input type="checkbox"/> その他()

安城市長 様

年 月 日

受付番号	ひ第	—	号
------	----	---	---

被災届出書兼被災届出証明書

下記物件等について、下記のとおり被災したことを届出します。
なお、被災届出証明書に係る情報を市の関係部署に提供することを承諾します。

申請者住所			TEL
申請者氏名	フリガナ	被災者との関係 <input type="checkbox"/> 本人及び世帯員 <input type="checkbox"/> その他 ※その他の場合は委任状が必要	
この証明書の 必要数及び使用目的	通	(使用目的)	
被災者住所	<input type="checkbox"/> 申請者の住所と同じ(記載不要)		
被災者氏名	<input type="checkbox"/> 申請者の氏名と同じ(記載不要) フリガナ		
被災原因	<input type="checkbox"/> 地震 <input type="checkbox"/> 豪雨 <input type="checkbox"/> 暴風 <input type="checkbox"/> その他()		
被災年月日	年 月 日		
特記事項			
被災した物件等 の所在地等	<input type="checkbox"/> 申請者の住所と同じ(記載不要)		

上記、被災内容について被災の届出があったことを証明します。

令和 年 月 日

安城市長 印

(注) この証明書は、罹災証明書に代わり非住家等に交付されるものです。
被災の状況を客観的事実(添付書類等)に基づき、届出があったことを証明するものであり、民事上の
権利義務関係に効力を有するものではありません。

以下は記入しないでください。

添付書類	<input type="checkbox"/> 被災状況が確認できる写真等(被災物件写真) <input type="checkbox"/> 被災場所の位置図 <input type="checkbox"/> その他市長が必要と認める書類
本人確認書類	<input type="checkbox"/> 運転免許証 <input type="checkbox"/> パスポート <input type="checkbox"/> マイナンバーカード <input type="checkbox"/> その他()

安災証第 号

罹 災 証 明 書

世帯主住所			
世帯主氏名			
世帯構成員	氏名	続柄	生年月日
罹災原因	年 月 日の による		
被災住家※の所在地			
住家※の被害の程度			
浸水区分			

※住家とは、現実に住居（世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。）のために使用している建物のこと。（被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家）

備考	
----	--

上記のとおり、相違ないことを証明します。

年 月 日

安城市長 印

部隊等の派遣要請依頼書

文 書 番 号

年 月 日

愛知県知事

様

安城市長

部 隊 等 の 派 遣 要 請 依 頼 書

災害を防除するため、下記のとおり、自衛隊の災害派遣要請を依頼します。

記

1 災害の情况及び派遣要請を依頼する理由

災害の状況（特に災害派遣を必要とする区域の状況を明らかにする。）

派遣を要請する理由

2 派遣を希望する期間

3 派遣を希望する区域及び活動内容

(2) 区域

(2) 活動内容（遭難者の捜索援助、道路啓開、水防、輸送、防疫等）

4 その他参考となるべき事項

その他の細部については、 において調整する。

2 項に関しては、具体的に表現することが不可能な場合には、「救援活動終了するまでの間」等の定性的な表現

災害派遣部隊撤収要請依頼書

文 書 番 号

年 月 日

災害派遣要請者

様

安城市長

災 害 派 遣 部 隊 撤 収 要 請 依 頼 書

災害派遣を要請中のところ、派遣目的が達成されたことに伴い、 月 日をもって派遣部隊等を撤収要請されるよう依頼します。

様式第25 (風水害—第3編第9章第1節、地震—第3編第10章第1節)

避難所収容台帳

安城市	避難所
責任者氏名	

月 日	収容人員	記 事	物 品 使 用 状 況		備 考
			品 名	数 量	
<div></div>					
計					

- 注意事項 1 「収容人員」欄は、当日の最高収容人員数を記入し、収容人員数の増減経過は「記事」欄に記入しておくこと。
- 2 物品の使用状況は、開設期間中に使用した品目別及び使用数量を記入すること。
- 3 他市町村の住民を収容したときは、その住所、氏名及び収容期間を備考に記入すること。

様式第 2 6 （風水害－第 3 編第 9 章第 1 節、地震－第 3 編第 1 0 章第 1 節）

避難所用物品受払簿

品 名					単位呼称			安 城 市	
年 月 日			購 入 先 受 入 先	払 出 先	受	払	残	購入単価	購 入 金 額
合 計	数 量	受 入			払 出			残 高	
	金 額	円			円			円	

注意 合計欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

避難所設置及び収容状況

安 城 市

避難所の名称	種 別	開設期間	実人員	延人員	物品使用状況		実支出額	備 考
					品目	数量		
計								

(注) 1 「種別」欄は、既存建物、野外仮設、天幕の別に記入すること。
2 「物品の使用状況」欄は、開設期間中に使用した品目別、使用数量を記入すること。
3 他市町村の住民を収容したときは、その住所、氏名及び収容期間を「備考」欄に記入すること。
4 福祉避難所の場合には、避難所の名称欄の名称を○で囲むこと。
福祉避難所として使用した実費については、「備考」欄に記入すること。

被災者救出状況記録簿

安 城 市

[illegible]

注意事項 「救出用機械器具」欄は、借上費の有無償の別を問わず記入するものとし、有償による場合のみその借上費を「金額」欄に記入すること。

様式第29（風水害－第3編第5章第1節、地震－第3編第5章第1節）

被災者救出用機械器具燃料受払簿

品 名					単位呼称			安 城 市	
年 月 日			購 入 先 受 入 先	払 出 先	受	払	残	購入単価	購 入 金 額
合 計	数 量	受 入			払 出			残 高	
	金 額	円			円			円	

注意 合計欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

様式第30（風水害－第3編第5章第1節、地震－第3編第5章第1節）

被災者救出用機械器具修繕簿

安 城 市

機 械 器 具 の 名 称	所 有 者（管 理 者）氏 名	故 障 年 月 日	故 障 の 原 因	故 障 箇 所	修 繕 年 月 日	修 繕 費

様式第31（風水害－第3編第6章第1節、地震－第3編第7章第1節）

医薬品衛生材料受払簿

品 名					単位呼称			安 城 市	
年 月 日			購 入 先 受 入 先	払 出 先	受	払	残	購入単価	購 入 金 額
合 計	数 量	受 入			払 出			残 高	
	金 額	円			円			円	

注意 合計欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

様式第32 (風水害—第3編第6章第1節、地震—第3編第7章第1節)

病院診療所医療実施状況

安 城 市

診療機関名	患者氏名	診療期間 月 日	病 名	診療区分		診療報酬点数		金 額 円	備 考
				入院	通院	入院	通院		
計	人	/	/						

(注) 「診療区分」欄は該当欄に○印を記入すること。

様式第33 (風水害—第3編第6章第1節、地震—第3編第7章第1節)

助産台帳

安城市

分 べ ん 者			分べんの日時	助産機関名	期 間	金 額	備 考
住 所	氏 名	年 齢	及び場所				
						円	

様式第 3 4（風水害－第 3 編第 1 2 章第 2 節、地震－第 3 編第 1 3 章第 2 節）

遺 体 処 理 台 帳

安 城 市

処 理 年月日	遺体発見の 日時及び場所	死亡者 氏 名	遺族		洗浄等の処理			遺体の一 時保存料	検案料	実支出額	備 考
			氏 名	死 亡 者 との関係	品 名	数量	金 額				
							円	円	円	円	
計		人									

安 城 市

(注) 1 他市町村に及んだ場合には、「備考」欄にその市町村名を記入すること。
2 借上費については、有償、無償を問わず記入するものとし、有償による場合のみ、その借上額を「金額」欄に記入すること。
3 「修繕の概要」欄には、修繕の原因及び主な修繕箇所を記入すること。

安 城 市

注意事項

- 1 埋火葬を行った者が市長であるときは、遺族の氏名を「備考」欄に記入しておくこと。
- 2 市長が棺、骨箱等を現物で支給したときは、その旨を「備考」欄に明らかにしておくこと。
- 3 埋火葬を行った者に埋火葬費等を支給したときは、その旨及び金額を「備考」欄に記入しておくこと。

様式第36（風水害－第3編第12章第3節、地震－第3編第13章第3節）

身元不明者調書

安 城 市

調査番号	遺体発見場所	発見日時	着衣	所持品	所持金	身体の特徴	写真番号

様式第37 (風水害—第3編第10章第1節、地震—第3編第11章第1節)

飲料水供給記録簿

安城市

[illegible]

注意事項 1 「対象人員」欄の人員数は、概数で記入して差支えないこと。
2 「給水用機械器具」欄は、借上費の有無償の別を問わず記入するものとし、有償による場合のみ「金額」欄に借上額を記入すること。

様式第 38 (風水害―第 3 編第 10 章第 1 節、地震―第 3 編第 11 章第 1 節)

給水用機械器具燃料及び浄水用薬品資材受払簿

品 名			単位呼称		安 城 市			
年	月	日	購 入 先 受 入 先	払 出 先	受	払	残	購入単価 購 入 金 額
合 計	数 量	受 入 払			出 残			高
	金 額	円			円			円

注意 合計欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

様式第39（風水害－第3編第10章第1節、地震－第3編第11章第1節）

給水用機械器具修繕簿

安城市

[illegible]

様式第40（風水害－第3編第10章第2節、地震－第3編第11章第2節）

炊き出し受給者名簿

炊 出 場 (避難所)	
責任者氏名	

[illegible]

注意事項 1 「朝」「昼」「夕」欄は、受給食数を記入し、その最終行に合計を記入すること。

2 他の市町村の住民であるときは、その住所を「備考」に記入すること。

様式第41 (風水害—第3編第10章第2節、地震—第3編第11章第2節)

炊き出しによる食品給与のための物品使用簿

炊 出 場 (避難所)	
責任者氏名	

[illegible]

- 注意事項
- 1 使用日の朝・昼・夕ごとに「使用年月日」「朝昼夕」及び「献立名」欄を区切り、その最終行の「数量」及び「金額」欄に計を、「献立名」欄に給与食数を記入すること。
 - 2 「数量」及び「金額」は、使用日ごとに様式第 43 の「払」及び「金額」欄の数値（ただし、他の炊出場（避難所）へ払い出したものがある場合は、これを控除した数値）と一致すること。
 - 3 給与食数（「献立名」欄の最終行に記入）は、様式第 40 の計の数値と一致すること。

様式第42 (風水害—第3編第10章第2節、地震—第3編第11章第2節)

食料品現品給与簿

安城市

[illegible]

様式第43（風水害－第3編第10章第2節、地震－第3編第11章第2節）

炊き出しその他による食品給与のための物品受払簿

				炊 出 場 (避難所)				
				責任者氏名				
品名				単位呼称				
年 月 日		購入先 受入先	払出先	数 量			価 格	
				受	払	残	単 価	金 額
合 計	数 量	受 入		払 出		残 高		
	金 額	円		円		円		

- 注意 1 合計欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。
 2 「払」及び「残」に対応する価格は、そのものの受入れ時の価格によって記入すること。

様式第 4 4 （風水害－第 3 編第 1 0 章第 2 節、地震－第 3 編第 1 1 章第 2 節）

炊き出し用物品借用簿

炊 出 場 (避難所)	
責任者氏名	

品 名	数量	期 間	金 額	所 有 者 (管理者) 氏 名	備 考
		月 日から 月 日まで			
		月 日から 月 日まで			
		月 日から 月 日まで			
		月 日から 月 日まで			
		月 日から 月 日まで			
		月 日から 月 日まで			
		月 日から 月 日まで			
		月 日から 月 日まで			
		月 日から 月 日まで			
		月 日から 月 日まで			
		月 日から 月 日まで			
		月 日から 月 日まで			
		月 日から 月 日まで			
		月 日から 月 日まで			
		月 日から 月 日まで			
		月 日から 月 日まで			

応急用米穀の売却

第 号
年 月 日

愛知県知事 様

安城市長 印

応急用米穀の売却について（依頼）

年 月 日午前 時 分東海地震（震源地駿河湾沖、震度 5 ～ 6 ）が発生し、本市 地区、 地区及び 地区において家屋の倒壊 戸、半壊 戸の被害を受けました。
ついては、これらを始めとする被災者等に炊き出し給食を実施したいので、下記によりこの手配についてご配慮ください。

記

1 売却希望数量 kg

積算基礎等 (1) 対象戸数 戸
(2) 対象人員 人
〔 被災者 人
救じゅつ者 人
(3) 給食数 延 食
〔 被災者 食
救じゅつ者 食
(4) 給食対象期間
年 月 日から
年 月 日まで

2 輸送方法等
輸送可能車輛 台（ トントラック 台）

3 その他
緊急輸送道路（県道 線）は橋梁（ 橋）が損壊しているため不通である。

様式第46（風水害－第3編第10章第2節、地震－第3編第11章第2節）

第 号
年 月 日

安城市長 様

愛知県知事

応急用米穀の売却について（回答）

年 月 日付け で依頼のありましたこのことについて、東海農政局長との協議の結果、下記のとおり売却が決定されました。

記

- 1 売却量
- 2 売却される米穀の概要
- 3 売却金額
- 4 支払の方法
- 5 売却地等
- 6 出庫証又は荷渡指図書番号

様式第47（風水害－第3編第10章第3節、地震－第3編第11章第3節）

物資購入（配分）計画表

安 城 市

世帯区分	品 名					計
	単 価					
一人世帯 （基準額）円	数 量					
	世 帯 数					
	所 要 数					
	金 額					
二人世帯 （基準額）円	数 量					
	世 帯 数					
	所 要 数					
	金 額					
三人世帯 （基準額）円	数 量					
	世 帯 数					
	所 要 数					
	金 額					
四人世帯 （基準額）円	数 量					
	世 帯 数					
	所 要 数					
	金 額					
人世帯 （基準額）円	数 量					
	世 帯 数					
	所 要 数					
	金 額					
人世帯 （基準額）円	数 量					
	世 帯 数					
	所 要 数					
	金 額					
計	数 量					
	世 帯 数					
	所 要 数					
	金 額					
備 考						

注意事項 1 本表は全壊（全壊、流出）半壊（半壊）、床上浸水世帯分に分けて作成すること。
2 「品名」欄は、寝具、被服、生活必需品の順に記入すること。
3 各品目ごとの「備考」欄に都道府県調達分と市町村調達分を明らかにしておくこと。

世 帯 構 成 員 別 被 害 状 況

安 城 市

年 月 日 時現在

被害別 世帯構成員別	1 人 世帯	2 人 世帯	3 人 世帯	4 人 世帯	5 人 世帯	6 人 世帯	7 人 世帯	8 人 世帯	9 人 世帯	1 0 人 以上 世帯	計	小学 生	中学 生
全焼、全壊、流出													
半 壊 、 半 焼													
床 上 浸 水													

物資の給与状況

安 城 市

住家被害 程度区分		世帯主 氏 名	基礎と なった 世帯構 成人員	給与月日	物資給与の品名						実支 出額	備 考
					布団	毛布						
			人	月 日							円	
計	全壊	世帯										
	半壊	世帯										

災害救助物資として上記のとおり給与したことに相違ありません。
年 月 日
給与責任者氏名
印

(注) 1 「住家の被害程度区分」欄に、全壊(焼)流失、半壊(焼)又は床上浸水の別を記入すること。
2 「給与月日」の欄に、その世帯に対して最後に給与された物資の給与月日を記入すること。
3 「物資給与の品目」欄に、数量を記入すること。

物資受払簿

品 名					単位呼称				安 城 市							
年 月 日			購 入 先 受 入 先		払 出 先		受		払		残		購入単価		購 入 金 額	
合 計	数 量	受 入					払 出					残 高				
	金 額	円					円					円				

注意事項 合計欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

物資給与及び受領簿

安 城 市

住家被害 程度区分		給与の基礎 となった世 帯構成員数	災害発生時世帯構成員 人 { うち 死亡者 人
--------------	--	-------------------------	-------------------------------

被災救助用物資として下記内訳のとおり受領しました。

年 月 日

住 所

世帯主氏名

印

給与年月日	品 名	数量	備 考	給与年月日	品 名	数量	備 考

注意事項 り災者の受領年月日は、その世帯に対し最後に給与された物資の受領年月日
とすること。

学用品購入（配分）計画表

安 城 市

品名	単価	小 中 学 区 分	小 学 校						中 学 校						合 計		備 考
			全 壊 分			半 壊 分			全 壊 分			半 壊 分					
			児 童 数	数 量	金 額	児 童 数	数 量	金 額	生 徒 数	数 量	金 額	生 徒 数	数 量	金 額	数 量	金 額	
計																	

- 注意事項 1 本表は、学用品のうち、文房具及び通学用品のみとし、教科書(教材を含む。)については、別途適宜作成するものであること。
- 2 県調達分があるときは、その旨を各品目ごとの「備考」欄に明らかにしておくこと。

学用品受払簿

品 名			単位呼称		安 城 市				
年	月	日	購 入 先 受 入 先	払 出 先	受	払	残	購入単価	購 入 金 額
合 計	数 量	受 入		払 出		残 高			
	金 額	円		円		円			

注意事項 合計欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

[illegible]

- 5-89

燃料及び消耗品受払簿

品 名					単位呼称				安 城 市																
年 月 日			購 入 先 受 入 先		払 出 先		受		払		残		購入単価		購 入 金 額										
合 計	数 量	受				入				払				出				残				高			
	金 額					円								円				円							

- 注意事項 1 合計欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。
2 必要に応じ市有の車両等に対する分とその他の車両等に対する分と別冊又は別頁として差し支えないこと。

修繕費支払簿

安 城 市

輸送 年 月 日	目 的	故 障 年 月 日	故 障 場 所	故 障 車 両 等		故障の 原 因	故 障 箇 所	修 繕 年 月 日	修 繕 費
				名 称 番 号	所 有 者 氏 名				
									円

注意事項 必要に応じ、県又は市有の車両による分とその他の車両等による分とを別頁として差し支えない。

緊急通行車両確認申出書

		年 月 日
愛知県知事・愛知県公安委員会 殿		
緊急通行車両確認申出書		
申出者 住所		
氏名		
番号標に表示されている番号		
車両の用途（緊急輸送を行う車両にあっては、輸送人員又は品名）		
活 動 地 域		
車 両 の 使用者	住 所	() 局 番
	氏 名 又 は 名 称	
緊 急 連絡先	住 所	() 局 番
	氏 名	
備 考		

注 用紙は、日本産業規格 A 4 とする。

様式第 5 7 (地震－第 5 編第 4 章第 4 節)

緊急通行車両等届出書

		年 月 日
緊急通行車両等届出書		
愛知県公安委員会 殿		
届出者住所 (電話) 氏名		
番号標に表示されている番号		
車両の用途(緊急輸送を行う車両にあっては、輸送人員又は品名)		
使用者	住 所 (電話)	() 局 番
	氏 名	
通 行 日 時		年 月 日 午前・午後 時から 年 月 日 午前・午後 時まで
通 行 経 路		出 発 地
		通 行 目 的
備 考		

注 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とする。

様式第 5 8 (地震－第 5 編第 4 章第 4 節)

緊急通行車両確認証明書

第 号		年 月 日
緊急通行車両確認証明書		
知 事 印 公安委員会 印		
番号標に表示されている番号		
車両の用途 (緊急輸送を行う 車両にあつては、輸 送人員又は品名)		
活 動 地 域		
車 両 の 使用者	住 所	() 局 番
	氏 名 又 は名称	
有 効 期 限		
備 考		

備考 用紙は、日本産業規格 A 4 とする。

様式第 5 9 (風水害－第 3 編第 2 2 章第 4 節、地震－第 3 編第 1 5 章第 4 節)

応急仮設住宅使用申込書

年 月 日

愛知県知事

代理人 安城市長

申請者 被災時住所

氏名

印

電話番号

災害により被災しましたので、次のとおり申込みます。

希望 応急 仮設 住宅	第 1 希望地	安城市		住宅
	第 2 希望地	安城市		住宅
使用 期間	年 月 日から 年 月 日まで (原則として 6 か月間)			
	氏 名	続柄	年齢	備考 (障害者は級数)
		本人		
	入居予定者の中に次に該当する方は、○印を付けてください。			
	順位	○印	優先入居該当者	
	1		6 5 歳以上の方のみの世帯	
			6 5 歳以上の方もしくは 1 8 歳未満の方のみの世帯	
			障害者の方のいる世帯	
			3 歳未満の乳幼児を扶養する母子 (父子) 世帯	
			特定疾患により早急に居住の安定を図る必要がある世帯	
	2		6 5 歳以上の方のいる世帯	
		3 歳から 1 8 歳までの方を扶養する母子 (父子) 世帯		
		3 歳未満の乳幼児のいる世帯		
		生活保護受給者世帯		
		妊婦のいる世帯		

添付書類 り災証明書

受付印	区分	抽選番号	当選落選結果
	一般 優先 〔 第 1 順位 第 2 順位 〕		

応急仮設住宅使用（許可・却下）通知書

		年 月 日
住 所 氏 名		様
		安城市長 印
<p>年 月 日付けで申込みのありました応急仮設住宅使用については、 条件を付して許可 次の しましたので通知します。 理 由 に よ り 却 下</p>		
使 用 の 条 件	<p>1 応急仮設住宅入居の期間は、原則として入居の日から起算して6か月とする。したがって、その間に他に住居を移すよう努力すること。（ただし、入居の期間は復興の状況及び入居者の事情等により更新できるものとする。）</p> <p>2 この住宅は、他の者に貸さないこと。</p> <p>3 この住宅を返還するときは、入居のときと同じ状態にしておくこと。</p>	
使 用 の 契 約	<p>直ちに応急仮設住宅入居契約を締結してください。 （この通知書及び印鑑をお持ちのうえ、市役所においでください。）</p>	
却 下 の 理 由		

応急仮設住宅使用貸借契約書

愛知県甲とし を乙とし、甲乙当事者は応急仮設住宅の使用について、次のように応急仮設住宅使用貸借契約を締結する。

（使用物件）

第1条 甲は、災害救助法（昭和22年法律第118号）に基づいて設置した応急仮設住宅（以下「住宅」という。）を乙に無償で使用させるものとし、乙はこれを承諾する。

住 宅 名	所 在 地

（使用期間）

第2条 住宅の使用期間は、入居の日の 年 月 日から 年 月 日までとする。

（使用料）

第3条 住宅使用料は無償とする。

（費用負担）

第4条 別表に掲げる費用は、乙が負担しなければならない。なお、退去時の修繕にかかる費用については、乙に故意又は過失がある場合に乙が負担しなければならない。ただし、甲が認めたときはこの限りでない。

（入居者の保管義務）

第5条 乙は、住宅を善良な管理者の注意をもって管理し、正常な状態において維持しなければならない。

2 乙は、住宅を転貸し、又は入居の権利を他の者に譲渡することはできない。

3 乙は、住宅の原状を変更し、又は住宅以外の目的に使用してはならない。

（損害賠償）

第6条 乙が故意又は過失によって住宅又は建具を滅失し又は損傷したときは、乙は、甲に損害額に相当する金額を損害賠償として支払わなければならない。ただし、乙の負担において原状回復した場合は、この限りでない。

（住宅の明渡し）

第7条 乙は、住宅の使用を止めようとするときは、その1か月前までに甲にその旨を届け出なければならない。

（返還命令）

第8条 甲は、乙が次のいずれかに該当するときには、乙に住宅の返還を命ずることができる。

（1）第5条の規定に違反したとき。

（2）虚偽の申請があったとき。

(3) 正当な理由によらないで15日以上住宅を使用しないとき。

(4) 住宅の保管に関する甲の指示若しくは命令に従わないとき。

(返還命令の損害)

第9条 前条の返還命令により乙が損害を被ることがあっても、甲は損害を補償しない。

(有益費等の請求権の放棄)

第10条 乙は、貸借物件に投じた改良のための有益費、必要費その他の費用を請求できない。

(実地調査及び報告)

第11条 甲は、必要があるときは、その職員をして随時実地調査をし、その維持管理及び使用に関し必要な指示をし、又は報告を求めることができる。この場合、乙は、当該職員の立入調査を拒むことができない。

(疑義の決定)

第12条 この条件に関し、疑義のあるとき、その他使用について疑義を生じたときは、すべて甲の決定するところによるものとする。

この契約の締結を証するため、本契約書2通を作成し、それぞれ記名押印の上、甲乙各1通を保有する。

令和 年 月 日

甲 愛知県
上記代理人 安城市
住 所
氏 名

乙 被災時住所
氏 名

別 表

区 分	費 用
修 繕 等 に 要 す る 費 用	1 障子及びふすまの張替えに要する費用 2 ガラスのはめ替えに要する費用 3 畳の表替えに要する費用 4 建具の修繕及び建具に付属するかぎ等金物類の修繕及び取替えに要する費用 5 むれ縁、床板等の部分的な修繕に要する費用 6 壁の汚損箇所の塗替えに要する費用 7 煙突及び便所の臭気抜きの修繕及び取替えに要する費用 8 便所のくみ取り口の修繕及びふたの取替えに要する費用 9 流し台、調理台、コンロ台、戸棚、郵便箱等の部分的な修繕及び付属金物類の取替えに要する費用 10 電球、反射傘、グローブ、スイッチ、コンセント、ソケット、ローゼット、コードペンダント、テレビ共聴システム室内ユニット、ヒューズ等の修繕及び取替え並びに換気扇及び換気孔の修繕に要する費用 11 ガス栓の修繕及び取替えに要する費用 12 給水栓の修繕及び取替えに要する費用 13 便器、手洗器及び洗面器に付属する金物類等の補修及び取替えに要する費用 14 愛知県が設置した風呂釜及び浴槽の修繕に要する費用 15 生け垣、さく、塀等の修繕及び物干しの取替えに要する費用 16 その他前各号に類する修繕等に要する費用
電 気 等 の 使用料	1 電気の使用料 2 ガスの使用料 3 上下水道の使用料 4 その他前3号に類するものの使用料
汚 物 等 の 処 理 に 要 す る 費 用	1 配水管、污水管、ためます、沈砂槽及び排水溝の消毒及び清掃に要する費用 2 し尿、じんかい及び排水の消毒、清掃及び処理に要する費用 3 その他前2号に類するものの処理に要する費用
共 用 附 帯 設 備 の 使 用 に 要 す る 費 用	1 共用附帯設備の使用に関する費用
共 用 施 設 の 使 用 に 要 す る 費 用	1 集会所の清掃に要する費用 2 その他共同施設の使用に要する費用
そ の 他 前 各 号 に 類 す る 費 用	別に愛知県が定める費用

応急仮設住宅台帳

市町村名	安城市	団地名	
所在地			
構造区分		敷地区分	
着工年月		竣工年月	
実支出額			

住戸番号	世帯主氏名	世帯人数	面積	入居年月	備考

注

- 「住戸番号」欄は応急仮設住宅の各住戸に付した番号とし、設置箇所を明らかにした簡単な図面を作成し添付すること。
- 「世帯人数」欄は入居時における世帯主を含めた人員数を記入すること。
- 「所在地」欄は応急仮設住宅を建設したところの住所を記入すること。
- 「構造区分」欄は木造住宅、プレハブ住宅の別を記入すること。
- 「敷地区分」欄は公私有別とし、有無償の別も明らかにしておくこと。
- 「備考」欄は入居後における経過を明らかにしておくこと。

応急仮設住宅入居予定者名簿

安 城 市

番号	被災者 台帳 番号	世帯主名	世帯 人数	職業	被災世帯内訳										市町村民税			備考 （希望団地等）
					65 歳以上の 方のみの世 帯	65 歳以上の 方と18歳未 満の方のみ の世帯	障害者の方 のいる世帯	3 歳未満の 乳幼児を 扶養する母 子（父子） 世帯	特定疾患に より早急に 居住の安定 を図る必要 がある世帯	65 歳以上の 方のいる世 帯	3 歳から18 歳 までの方を 扶養する母 子（父子） 世帯	3 歳未満の 乳幼児のい る世帯	妊婦のいる 世帯	生活保護 受給者世帯	非課税	均等割	所得割	

様式第 6 2－2 （風水害－第 3 編第 2 2 章第 4 節、地震－第 3 編第 1 5 章第 4 節）

応急仮設住宅入居者名簿(入居者台帳)

住宅名		棟・室番号		入居時人数	使用貸借期間			退去年月日	
		棟号			令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで			令和 年 月 日	
	氏名								
		本人		挿入					
		(契約者)	・	・					
			・	・					
			・	・					
			・	・					
			・	・					
			・	・					
			・	・					
			・	・					
			・	・					
			・	・					
緊急連絡先	ふりがな	契約者	性別	年齢	現住所	自宅電話番号	勤務先名	勤務先電話番号	
	氏名	からみた関係							

障害物除去の状況記録簿

住家被 害程度 区 分	住所	氏名	職業	家族数	除去を要 すべき状 態の概要	除去に 要した 時 間	金 額	備 考

応援受入簿

期 間	要 請 先	人 員	援 護 内 容	備 考
年 月 日から 年 月 日まで				
年 月 日から 年 月 日まで				
年 月 日から 年 月 日まで				
年 月 日から 年 月 日まで				
年 月 日から 年 月 日まで				
年 月 日から 年 月 日まで				
年 月 日から 年 月 日まで				
年 月 日から 年 月 日まで				
年 月 日から 年 月 日まで				

様式第67（風水害－第3編第4章第1節、地震－第3編第4章第1節）

臨時雇い上げ人夫勤務状況表

安城市

住所	氏名	年齢	単価	月分			基本金額		割増賃金		計	備考
				日	日		日数	金額	時間	金額		
				日	日							
計	名						日	円	時間	円		

注意事項

- 1 救助種目ごとに別冊又は別頁とすること。
- 2 時間外勤務に従事させた場合はその時間数を「日別」欄に記入しておくこと。
- 3 必要に応じ「賃金受領」欄を設けて差し支えないこと。
- 4 適当箇所に勤務証明の奥書をしておくこと。

様式第68（風水害－第3編第4章第1節、地震－第3編第4章第1節）

從事者台帳

安城市

[illegible]

公用令書

		従事第	号
		年 月 日	
住 所			
氏 名	様		
		処分権者	印
災害対策基本法第 7 1 条の規定に基づき、次のとおり		従事 協力	を命ずる。
従事すべき業務			
従事すべき場所			
従事すべき期間			
出頭すべき日時			
出頭すべき場所			
備 考			

公用変更令書

		変更第	号
		年 月 日	
住 所			
氏 名		様	
		処分権者	印
<p>第 7 1 条</p> <p>災害対策基本法 の規定に基づく公用令書（ 年 月 日</p> <p>第 7 8 条第 1 項</p> <p>第 号）に係る処分を次のとおり変更したので、同法施行令第 3 4 条第 1 項の規定により交付する。</p>			
変 更 し た 処分の内容			

様式第 7 1（風水害－第 3 編第 4 章第 1 節、地震－第 3 編第 4 章第 1 節）

公用取消令書

		取消第	号
		年	月 日
住 所			
氏 名	様		
	処分権者		印
第 7 1 条			
災害対策基本法 の規定に基づく公用令書（ 年 月 日			
第 7 8 条第 1 項			
第 号）に係る処分を取り消したので、同法施行令第 3 4 条第 1 項の規定により			
交付する。			

ボランティア団体等協力申出書

安 城 市 長

下の注意事項を読んでから記載してください。

申出日

年 月 日

団 体 名 及 び 所 在	連絡先電話番号			
代 表 者	住所			
	氏 名		電話番号	
活 動 人 員	男性	名	(主な年齢層	歳)
	女性	名	(主な年齢層	歳)
活 動 期 間	年 月 日 から 年 月 日まで			
希望活動業務 (得意分野)				
活 動 意 見				

注意事項

- 1 太枠の中のみ記入してください。
- 2 「団体名及び所在」欄は、団体での申出の場合のみ記入してください。
- 3 個人での申出の場合は、「代表者」欄に住所・氏名を記入してください。

処 理	申 出 方 法（該当を○で囲む）	受 付 者	所 属	
	来庁・郵送・電話・ファックス		氏 名	

緊急物資要請書

市町村名	(無線) 電話	物資受領日時時間 / :
	(無線) FAX	受領者印 (サイン)

1 送信・受信履歴

番号	市町村の送信・受信			送受別 ←・→	県の送信・受信		
	月日	時間	担当者		月日	時間	担当者
	/	:			/	:	
	/	:			/	:	
	/	:			/	:	
	/	:			/	:	
	/	:			/	:	

2 要請する緊急物資(様式3－2への記載 有 ・ 無)

市 町 村 記 入 欄			県 記 入 欄
要 請 品 目		要 請 数 量 (単 位)	回 答 数 量 (単 位)
1	主食・飲み物 月 日 朝 ・ 昼 ・ 夜	人分	
2			
3			
4			
5			

3 市町村要請時の特記事項(市町村記入)

県拠点等へ物資を取りに来られるか？ (いずれかに○をつける)	可 ・ 否 ・ その他 ()
(その他特記事項)	

4 県回答時の指示特記事項(県記入)

物資の引渡し方法 (どちらかに○をつけ	市町村が取りに来る / 県が市町村へ配送
引渡し／配送時間等連絡欄	
(その他特記事項)	

5 配送情報

項 目	市町村が取りに来る場合 (県記入)	市町村へ県が配送する場合 (市町村記入)
場所 (どこへ)		
現地の担当者		
現地の連絡先		
(その他特記事項)		

発 生 情 報

報告日時	年 月 日 時 分
市町村名	安 城 市
所 属	
報 告 者	
電 話 等	

1 災害の発生日時、場所、原因及び被害の概況

2 被害状況調（ 月 日 時 分現在）

人的被害		人	住家被害	棟	世帯	人員
死 者			全壊、全焼又は流失			
行方不明			半壊、又は半焼			
負傷	重傷		一部損壊			
	軽傷		床上浸水			
	小計		床下浸水			

3 すでにとった措置

4 今後とろうとする措置

5 その他必要事項

※ 「2 被害状況調」は、愛知県防災情報システムに入力済みである場合には、表に代えて「県防災情報システムに入力済み」と記載し、数値の記載を省略することができる。

愛知県知事 殿

安城市長

印

災害救助法の適用について（依頼）

令和〇〇年〇月〇〇日に発生した＜災害名＞により、下記のとおり多大な被害が発生しましたので、災害救助法（昭和 22 年法律第 118 号）の適用を要請します。

記

1 被害の状況

(令和 年 月 日 時 分現在)

人的被害		人	住家被害	世 帯
死 者			全壊、全焼又は流失（A）	
行 方 不 明			半壊、又は半焼（B）	
負 傷	重 傷		一部損壊	
	軽 傷		床上浸水（C）	
	小 計		床下浸水	

減失世帯数 世帯 ※ 減失世帯数 = (A) + (B) / 2 + (C) / 3

2 災害救助法施行令第 1 条第 1 項の該当条項
第〇号

3 すでにとった措置

4 今後とろうとする措置

中間・決定 情報

報告日時	令和 年 月 日 時 分
市町村名	安 城 市
所 属	
報 告 者	
電 話 等	

1 災害の発生日時、場所、原因及び被害の概況

2 被害状況調（ 月 日 時 分現在）

人的被害		人	住家被害	棟	世帯	人員
死 者			全壊、全焼又は流失			
行 方 不 明			半 壊 、 又 は 半 焼			
負 傷	重 傷		一 部 損 壊			
	軽 傷		床 上 浸 水			
	小 計		床 下 浸 水			

3 救助の種類別実施状況（ 月 日 時 分現在）

救助の種類	実施状況			救助の種類	実施状況		
避難所の設置	延		人	救出	延		人
応急仮設住宅の供与			戸	住宅の応急修理	延		世帯
食品の給与	延		人	学用品の給与	延		人
飲料水の供給	延		人	埋葬	延		人
生活必需品の給与	延		世帯	死体の搜索	延		人
医療	延		人	死体の処理	延		人
助産	延		人	障害物の除去	延		世帯

4 救助費概算（見込）額調

別紙 「災害救助費概算額調」 のとおり

5 救助費の予算措置の概況

※ 「2 被害状況調」は、愛知県防災情報システムに入力済みである場合には、表に代えて「県防災情報システムに入力済み」と記載し、数値の記載を省略することができる。

(初動期)避難所状況報告書

第 報

避難所名					
避難所開設日時		月 日 時 分			
報告日時		月 日 時 分			
送信者名					
受信者名					
受信手段		FAX・電話・防災行政無線・伝令・その他()			
受信先番号					
避難者数(在宅避難者含む)		約 _____ 人 (うち要援護者_____人)			
避難世帯数(在宅避難者含む)		約 _____ 世帯			
避難者数増減見込み		増加 ・ 減少 ・ 変化なし			
安否状況		死者数 _____ 人 ・ 行方不明者数 _____ 人 重傷者数 _____ 人 ・ 軽傷者数 _____ 人 要援護者(生死を問わず確認できた人数) _____ 人			
避難所施設	建物安全確認	未実施 ・ 安全 ・ 要注意 ・ 危険			
	ライフライン	停電 ・ 電話不通 ・ 断水 ・ ガス停止			
周辺状況	火災	なし ・ 大火の危険(____町地内) ・ 延焼中(約____件)			
	建物倒壊	ほとんどなし ・ あり(約____棟) ・ 不明			
	救出活動	不要 ・ 必要(約____ヶ所 _____人) ・ 不明			
	道路状況	通行可 ・ 渋滞(場所:_____) ・ 通行不可(場所:_____)			
	ライフライン	停電 ・ 電話不通 ・ 断水 ・ ガス停止			
参集した避難所特命者数		_____ 人			
参集した地区スタッフ数		_____ 人			
参集した施設管理者数		_____ 人			
※緊急を要する事項(具体的に箇条書きしてください。)					

※本部への報告は、災害発生から30分後(参集直後)、1時間後、2時間後、以後本部からの指示があるまでは1時間ごとに定時報告してください。ただし、一般避難所・福祉避難所はその10分前に公民館避難所へ報告してください。公民館避難所は集計したものを災害対策本部に定時報告してください。

(展開期) 避難所状況報告書

避難所名 _____

第 報

送信者名				受信者名			
報告日時		月 日 時 分		受信先番号			
世帯数		現在数 (A)		前日数 (B)		差引 (A-B)	
内訳	避難者	世帯		世帯		世帯	
	在宅避難者	世帯		世帯		世帯	
	合計	世帯		世帯		世帯	
人数		現在数 (A)		前日数 (B)		差引 (A-B)	
内訳	避難者	人		人		人	
	在宅避難者	人		人		人	
	合計	人		人		人	
安否情報	死者	人	住家被害	全壊	棟	床上浸水	棟
	行方不明者	人		半壊	棟	床下浸水	棟
	重傷者	人		一部破損	棟	()	棟
	軽傷者	人	地域状況	道路状況	通行可 ・ 渋滞 ・ 片側通行 ・ 通行不可		
	要援護者	人		ライフライン	停電 ・ 電話不通 ・ 断水 ・ ガス停止		
避難所の運営状況							
編成状況	(避難者) 組	編成済み ・ 未編成		避難所運営委員会代表者	氏名 :		
	避難所運営委員会	編成済み ・ 未編成			連絡先 :		
	運営班	編成済み ・ 未編成					
各運営班		対応状況				今後の要求・展開	
連絡事項	総務班						
	名簿班						
	食料班						
	物資班						
	救護・相談班						
	衛生班						
	連絡・広報班						
	誘導班						
	()						
	行政担当者						
施設管理者							
対処すべき、予見される事項があればあわせて報告してください。 (水、食料の過不足／物資の過不足／風邪などの発生状況／避難所の生活環境／避難者の雰囲気 など)							

